

2 学習指導要領に関すること（気付きの質を高める取組等）について

- 児童が学習の見通しを持てるよう、見開きごとに活動内容が端的な言葉で示されている。
- 「せいかつことば」には、各単元に関係する言葉や表現が掲載され、「きらきらことば」には、他者と交流するための言葉が掲載されている。
- 巻末資料の「がくしゅう どうぐばこ」の下巻には、調べ方や伝え方について掲載されている。
- 教師の問いかけや関わり方、板書例が掲載されている。
- 育成を目指す資質・能力に即して整理された9つの内容に該当する単元が2年間で網羅するよう構成されている。

3 児童の実態や家庭・地域の実情に関すること

- 裏表紙に、「保護者の皆さまへ」が掲載されている。
- 巻末資料の「がくしゅう どうぐばこ」には、日本の伝統・文化や他国の文化の写真が掲載されている。
- 巻末資料の「がくしゅう どうぐばこ」では、交通安全、自然災害、防犯について取り上げられ、自分の身を守るための習慣や技能がイラストで掲載されている。

4 内容の構成・配列、他教科等との関連について

- 上巻の巻頭に、スタートカリキュラムへ対応した単元が設定されており、キャラクターによる小学校生活についての紹介が掲載されている。
- 他教科等との関連がある箇所に、教科名が記されたマークが付けられている。
- 学年末の単元で、次の学年へのつながりが掲載されている。
- 時系列で単元が配列・構成されている。
- 裏表紙に、動画や画像コンテンツにつながるQRコードが掲載されており、上巻には7か所、下巻では11か所の対象マークが示されている。

5 全体的な表記・表現等について

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。
- 活動のヒントや留意点を与えるキャラクターが設定されている。

[調査票] 【11 学図】 (小学校 生活)

1 概括的な調査研究

(1) 単元のページ構成

教科用図書名：「上巻 がっこうだいすき」(総頁数134)

	単元名	頁数	割合
1	がっこうたんけん	14	10%
2	わたしのあさがお	22	16%
3	あそびにいいこうよ	12	9%
4	あつくなつたよ	8	6%
5	あきをたのしもう	12	9%
6	ふゆをたのしもう	12	9%
7	いきものだいすき	10	8%
8	むしだいすき	4	3%
9	ありがとうがいっぱい	10	8%
10	もうすぐ2年生	8	6%
	その他	22	16%

教科用図書名：「下巻 みんな大すき」(総頁数122)

	単元名	頁数	割合
1	まちたんけん	14	11%
2	あの人に会いたいな	20	17%
3	わたしたちの野さいばたけ	20	17%
4	生きものと友だち	14	11%
5	作ってあそぼううごくおもちゃ	18	14%
6	わたしたんけん	16	13%
	その他	20	17%

※その他は、目次、「生活科 学び方図かん」等の資料の頁数

(2) 表現活動の比較 (箇所数)

	カード	作文	作品	書き込み	伝え合い 発表	手紙 招待状	新聞・地図 ポスター	交流会
上巻	53	1	25	8	2	3	0	1
下巻	47	4	27	9	1	5	2	1

2 学習指導要領に関すること（気付きの質を高める取組等）について

- 児童が学習の見通しを持てるよう、各単元が「どきどき」「いきいき」「ふむふむ」「にこにこ」の4つの段階で構成されている。
- 「ものしりのうと」が設定され、記録カードの書き方やもの作りの仕方等が掲載されている。
- 巻末資料の「まなびかたずかん」では、発達段階に合った表現活動が掲載されている。
- 例示されている記録カードには、教師のコメントの例が掲載されている。
- 育成を目指す資質・能力に即して整理された9つの内容に該当する単元が2年間で網羅するよう構成されている。

3 児童の実態や家庭・地域の実情に関すること

- 目次の右ページに、「保護者の皆様へ」が掲載されている。
- 下巻の「まちたんけん」では、各地域のお祭りを季節ごとに写真で掲載されている。
- 上下巻に「あんぜんのページ」が設定されており、防災について対処方法の事例が掲載されている。

4 内容の構成・配列、他教科等との関連について

- 上巻の巻頭に、スタートカリキュラムへ対応した単元が設定されている。絵と文で、小学校生活や遊び等が紹介されている。
- 上下巻の巻末資料に他教科等につながるヒントが掲載されている。
- 学年末の単元で、次の学年へのつながりが掲載されている。
- 四季の単元が、連続して構成されている。
- 動画コンテンツにつながるQRコードが、上巻では9か所、下巻では3か所設定されている。

5 全体的な表記・表現等について

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。
- 「あおい」「そうた」「ゆい」「りんたろう」という子供のキャラクターが、対話を通して学習を進める様子が掲載されている。

1 概括的な調査研究

(1) 単元のページ構成

教科用図書名：「上巻 みんななかよし」(総頁数138)

	単元名	頁数	割合
1	わくわくどきどきしょうがっこう	16	11%
2	きれいにさいてねわたしのはな	16	11%
3	きせつとなかよしはる・なつ	16	11%
4	なかよくなろうね小さなともだち	10	7%
5	きせつとなかよしあき	20	14%
6	かぞくにこにこ大きくせん	12	9%
7	きせつとなかよしふゆ	14	10%
8	もうすぐ2年生	9	6%
	その他	25	18%

教科用図書名：「下巻 なかよしひろがれ」(総頁数138)

	単元名	頁数	割合
1	めざせ野菜作り名人	18	13%
2	まちが大すきたんけんたい	22	16%
3	めざせ生きものはかせ	14	10%
4	えがおのひみつたんけんたい	24	17%
5	作ってためして	20	14%
6	あしたへつなぐ自分たんけん	13	10%
	その他	27	20%

※その他は、目次、「学びの ポケット」等の資料の頁数

(2) 表現活動の比較 (箇所数)

	カード	作文	作品	書き込み	伝え合い 発表	手紙 招待状	新聞・地図 ポスター	交流会
上巻	28	2	28	13	13	1	0	2
下巻	38	2	28	13	15	6	11	2

2 学習指導要領に関すること（気づきの質を高める取組等）について

- 児童が学習の見通しを持てるよう、「単元インデックス」が設定されている。
- 巻末資料の「学びのポケット」では、発達段階に合わせた表現活動が掲載されている。
- 児童が自己評価することができる「まんぞくハシゴ」が掲載されている。
- 教師の問いかけや関わり方が例示されている。
- 育成を目指す資質・能力に即して整理された9つの内容に該当する単元が2年間で網羅するよう構成されている。

3 児童の実態や家庭・地域の実情に関すること

- 目次に、「保護者のみなさまへ」が掲載されている。
- 地域の習慣や行事に目を向ける活動や資料が掲載されている。
- 巻末資料の「学びのポケット」に、自然災害、防犯、交通安全への意識付けや対処方法の事例が掲載されている。

4 内容の構成・配列、他教科等との関連について

- 上巻の巻頭に、スタートカリキュラムへ対応した単元が設定されており、幼児期の学びと学校生活や教科学習とのつながりが示されている。
- 下巻には「理科へのまど」「社会科へのまど」が設定されており、第3学年以降の学習へつながりが示されている。
- 巻末資料の「まなびのポケット」で、「ほかで学しゅうした力をつかおう。」として、他教科等との関連を示している。
- 時系列で単元が配列・構成されている。
- 動画や画像コンテンツにつながるQRコードが、上巻に6か所、下巻に6か所掲載されている。

5 全体的な表記・表現等について

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。
- 「いぐら」というキャラクターが、活動のヒントや留意点を与えるよう設定されている。

1. 概括的な調査研究

(1) 単元のページ構成

教科用図書名：「上巻 あおぞら」(総頁数130)

	単元名	頁数	割合
1	うれしいないちねんせい	22	17%
2	はるとなかよし	8	6%
3	たんごのせつく	2	2%
4	わたしのあさがお	8	6%
5	いきものといっしょ①	8	6%
6	たなばた	4	3%
7	まぶしいなつ	12	9%
8	ひとつぶのたねから	6	5%
9	いきものといっしょ②	6	5%
10	おつきみ	4	3%
11	あきがいっぱい	14	10%
12	わたしとかぞく	4	3%
13	ふゆもきらきら	12	9%
14	せつぶん	3	2%
15	てづくりおもちゃ	3	2%
16	ひなまつり	2	2%
17	もうすぐ二ねんせい	7	5%
	その他	5	4%

教科用図書名：「下巻 そよかぜ」(総頁数105)

	単元名	頁数	割合
1	二年目の春	10	9%
2	わたしたちがすむ町	14	13%
3	いきものといっしょ③	4	4%
4	いっぱいみのって	14	13%
5	かがやく夏	6	5%
6	すすめすいすい	6	5%
7	いっぱいみのったね	8	8%
8	みんなで行こう	8	8%
9	冬とお正月	8	8%
10	はしれはしれ	6	5%
11	いきものといっしょ④	4	4%
12	大きくなったぼくわたし	8	8%
13	すごいねぼくわたし	4	4%
	その他	5	5%

※その他は、目次、巻頭資料等の頁数

(2) 表現活動の比較 (箇所数)

	カード	作文	作品	書き込み	伝え合い 発表	手紙 招待状	新聞・地図 ポスター	交流会
上巻	12	4	20	0	1	0	0	1
下巻	3	4	5	0	2	5	0	1

2 学習指導要領に関すること（気付きの質を高める取組等）について

- 児童が学習の見通しを持てるよう、「はじめまして せいかつか」が設定されている。
- 生き物に関わる場面では、上下巻継続して同じ動物について取り上げられている。
- 各単元の導入では、見開きの絵や写真が掲載されている。
- 児童の活動時の教師の関わり方が、イラストで示されている。
- 育成を目指す資質・能力に即して整理された9つの内容に該当する単元が2年間で網羅するよう構成されている。

3 児童の実態や家庭・地域の実情に関すること

- 目次の前ページに「ご家庭のみなさんへ」が掲載されている。
- 上巻には、「きせつのぎょうじ」が設定され、季節の伝統行事について掲載されている。
- 上巻では、交通安全について掲載されている。

4 内容の構成・配列、他教科等との関連について

- 上巻の巻頭に、スタートカリキュラムに対応した単元が設定されており、小学校生活の一日について紹介されている。
- 活動を通じて、他教科との関連を図る構成になっている。
- 学年末の単元で、次の学年へのつながりが掲載されている。
- 時系列で単元が配列・構成されている。
- 目次に、植物についての画像コンテンツにつながるQRコードが掲載されている。

5 全体的な表記・表現等について

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。
- 文やセリフ、観察カードは、縦書きに統一されている。

1 概括的な調査研究

(1) 単元のページ構成

教科用図書名：「上巻 まいにちあたらしい」(総頁数148)

	単元名	頁数	割合
1	なかよしいっぱいだいさくせん	14	9%
2	さかせたいなわたしのはな	18	13%
3	なつだとびだそう	16	10%
4	いきものとなかよし	12	8%
5	あきといっしょ	12	8%
6	みんなのにこにこ大きくせん	14	9%
7	ふゆとともだち	24	17%
8	もうすぐみんな2年生	12	8%
	その他	26	18%

教科用図書名：「下巻 だいすきみつけた」(総頁数108)

	単元名	頁数	割合
1	まちをたんけん大はっけん	12	11%
2	ぐんぐんそだておいしいやさい	18	17%
3	小さな友だち	12	11%
4	あそんでためしてくふうして	16	15%
5	もっともっとまちたんけん	22	20%
6	広がれわたし	10	9%
	その他	18	17%

※その他は、目次、「ジャンプ 大しゅうごう」等の資料の頁数

(2) 表現活動の比較 (箇所数)

	カード	作文	作品	書き込み	伝え合い 発表	手紙 招待状	新聞・地図 ポスター	交流会
上巻	48	0	10	8	8	5	0	2
下巻	30	0	10	7	7	9	4	0

2 学習指導要領に関すること（気づきの質を高める取組等）について

- 児童が学習の見通しを持てるよう、各単元が「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3つの段階で設定されている。
- 巻末資料の「ひろがる せいかつじてん」では、体験活動や表現活動の例が掲載されている。
- 各単元の終わりに、振り返りを書いた「ジャンプシール」を貼る見開きページが設定されており、巻末に、それらを貼り直して振り返る「ジャンプ大しゅうごう」の見開きページが設定されている。
- 各単元に「どうすれば」が設定され、活動のヒントや気付かせたいポイントが示されている。
- 育成を目指す資質・能力に即して整理された9つの内容に該当する単元が2年間で網羅するよう構成されている。

3 児童の実態や家庭・地域の実情に関すること

- 裏表紙に、「保護者の皆様へ」が掲載されている。
- 各地域の伝統行事や様子が写真やイラストで掲載されている。
- 巻末資料の「ひろがる せいかつじてん」では、災害に関する注意点や、防災に関する事項について掲載されている。

4 内容の構成・配列、他教科等との関連について

- 上巻の巻頭に、スタートカリキュラムへ対応した単元が設定されており、入学式から始まる学校生活について紹介されている。
- 活動を通じて、他教科との関連を図る構成になっている。
- 学年末の単元で、次の学年へのつながりが掲載されている。
- 時系列で単元が配列・構成されている。
- 写真や動画コンテンツにつながるQRコードが、上巻に9か所、下巻に8か所設定されている。

5 全体的な表記・表現等について

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点を取り入れられている。
- QRコードを示すキャラクターの色によって、コンテンツの種類が3つに分けられている。

1 概括的な調査研究

(1) 単元のページ構成

教科用図書名：「上巻 わくわくせいかつ」(総頁数154)

	単元名	頁数	割合
1	いくぞ! がっこうたんけんたい	18	12%
2	げんきにそだてわたしのはな	14	9%
3	あそびばにでかけよう	10	6%
4	なつとなかよし	14	9%
5	生きもの大すき	14	9%
6	あきとなかよし	14	9%
7	ひろがれえがお	12	8%
8	ふゆとなかよし	12	8%
9	もうすぐ2年生	10	6%
	その他	36	24%

教科用図書名：「下巻 いきいきせいかつ」(総頁数138)

	単元名	頁数	割合
1	新しいこといっぱい	10	7%
2	大きくそだてわたしの野さい	14	10%
3	とび出せ! 町のたんけんたい	16	12%
4	みんな生きている	16	12%
5	せかいでひとつわたしのおもちや	14	10%
6	もっと知りたいたんけんたい	14	10%
7	町のすてきつたえたい	12	9%
8	これまでのわたしこれからのわたし	11	8%
	その他	31	22%

※その他は、目次、「がくしゅうずかん」等の資料の頁数

(2) 表現活動の比較 (箇所数)

	カード	作文	作品	書き込み	伝え合い 発表	手紙 招待状	新聞・地図 ポスター	交流会
上巻	36	0	26	2	6	7	1	3
下巻	42	1	27	3	3	4	11	1

2 学習指導要領に関すること（気付きの質を高める取組等）について

- 児童が学習の見通しを持てるよう、各単元が「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3つの段階で構成されている。
- 巻末資料の「がくしゅうずかん」には、発達段階に合わせた表現活動が掲載されている。
- 「できるかな できたかな？」が設定され、振り返りの視点の例が示されている。
- 教師の言葉かけや働きかけの例が掲載されている。
- 育成を目指す資質・能力に即して整理された9つの内容に該当する単元が2年間で網羅するよう構成されている。

3 児童の実態や家庭・地域の実情に関すること

- 最終ページに、「保護者の皆様・先生方へ」が掲載されている。
- 「きせつだより」が設定され、季節の行事や歌が示されている。
- 自然災害、交通災害、人的災害の3つの視点を基にした資料が掲載されている。

4 内容の構成・配列、他教科等との関連について

- 上巻の巻頭に、スタートカリキュラムへ対応した単元が設定されており、幼児期の学びと学校生活や教科学習とのつながりが示されている。
- 他教科との関連がある箇所に、教科名が書かれたマークが付けられている。
- 下巻の巻末には、「3年生へのステップブック」があり、2年間の生活科の学びを振り返り、3年生につながるように構成されている。
- 時系列で単元が配列・構成されている。
- 動画や音声等のコンテンツにつながるQRコードが、上巻に8か所、下巻に15か所設定されている。

5 全体的な表記・表現等について

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点を取り入れられている。
- 「ぐるるっち」「のびっく」「ぴんぴん」というキャラクターが設定されており、場面に応じてヒントを出したり、気付きや注意を促したりしている。

1 概括的な調査研究

(1) 単元のページ構成

教科用図書名：「上巻 みんななかよし」(総頁数144)

	単元名	頁数	割合
1	がっこうをたんけんしよう	16	11%
2	きれいなはなをさかせたい	14	10%
3	きせつとあそぼう -はるからなつ-	18	13%
4	生きものとなかよくなるろう	8	5%
5	きせつとあそぼう -あき-	18	13%
6	じぶんでできるよ	10	7%
7	きせつとあそぼう -ふゆ-	12	8%
8	もうすぐ2年生	10	7%
	その他	38	26%

教科用図書名：「下巻 ふれあいだいすき」(総頁数136)

	単元名	頁数	割合
1	町たんけん1 みんなでつかう場所へ行こう	12	9%
2	ぐんぐんそだてみんなの野さい	18	13%
3	夏休みを楽しくすごそう	4	3%
4	生きものはかせになろう	18	13%
5	町たんけん2 グループで出かけよう	18	13%
6	あそび名人になろう	20	15%
7	こんなに大きくなったよ広がれわたし	12	9%
	その他	34	25%

※その他は、目次、「ちえと わざの たからばこ」等の資料の頁数

(2) 表現活動の比較 (箇所数)

	カード	作文	作品	書き込み	伝え合い 発表	手紙 招待状	新聞・地図 ポスター	交流会
上巻	25	0	26	4	4	2	0	3
下巻	24	1	19	1	4	10	5	2

2 学習指導要領に関すること（気づきの質を高める取組等）について

- 児童が学習の見通しを持てるよう、各単元の導入の見開きページに、「学習のめあて」が資質・能力の3つの柱に即して示されている。
- 「学びのまど」が設定され、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの学習活動が示されている。
- 巻末資料の「ちえとわざのたからばこ」には、考えるための技法がイラストで掲載されている。
- 板書例や学習場面の例示が掲載されている。
- 育成を目指す資質・能力に即して整理された9つの内容に該当する単元が2年間で網羅するよう構成されている。

3 児童の実態や家庭・地域の実情に関すること

- 目次に、「保護者の方へ」が掲載されている。
- 伝統文化や郷土についての学習活動の事例が挿絵や写真、吹き出し等で示されている。
- 上下巻において、巻末資料の「ちえとわざのたからばこ」では、自然災害、人的災害、交通災害への対処方法の事例が掲載されている。

4 内容の構成・配列、他教科等との関連について

- 上巻の巻頭に、スタートカリキュラムへ対応した単元が設定されており、小学校での生活について紹介されている。
- 活動を通じて、他教科との関連を図る構成になっている。
- 学年末の単元で、次の学年へのつながりが掲載されている。
- 時系列で単元が配列・構成されている。
- 動画や画像コンテンツにつながるURLが、上巻に17か所、下巻に14か所掲載されている。

5 全体的な表記・表現等について

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点を取り入れられている。
- 「ぼいんとさん」「ひんとさん」「ちゅういさん」というキャラクターが設定されており、場面に応じてヒントを出したり気づきや注意を促したりと、多面的に学習をアシストしている。

令和2年度使用
小学校用教科用図書
採択参考資料

音 楽

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号
17 教出	音楽 101・201・301・401・501・601
27 教芸	音楽 102・202・302・402・502・602

音 楽

I 教科用図書の調査研究に当たって

1 調査対象教科用図書

17 教出 27 教芸

2 調査研究の観点

- (1) 表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することができる内容であるか。
- (2) 実践的・体験的な学習を行うことができるよう配慮されており、児童の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。
- (3) 「A表現」と「B鑑賞」の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。
- (4) 音楽の記号及び用語、図や写真、挿絵等が適切であり、自己のイメージや感情、生活や文化などと関連付けやすいよう配慮されているか。

3 調査研究に対する基本的な考え方

- (1) 偏りのない公正な立場で調査研究を行っている。
- (2) 調査研究の資料を通して、教科用図書の特徴が明らかになるよう配慮している。
- (3) 記述に当たっては、教科用図書の内容を具体的に取り上げるようにし、調査員の主観に陥らないようにしている。
- (4) 採択の関係者が、見やすく分かりやすいよう配慮している。

II 採択参考資料の見方について

1 各教科用図書の発行者の記載順序は、発行者の番号順としている。

2 各教科用図書の調査票は、記載順序に従って配列してある。

3 調査票の調査研究項目は、調査研究の観点についてまとめている。

- (1) 概括的な調査研究…………… 観点(1)(3)
 - ① 各活動の楽曲数と我が国や郷土の音楽、諸外国の音楽等が扱われている楽曲数
 - ② 「A表現」と「B鑑賞」が関連する編集上の工夫
- (2) 学習指導要領に関する事…………… 観点(1)
- (3) 実生活との関わり、興味・関心について…………… 観点(2)
- (4) 表記や表現、資料等に関する事…………… 観点(4)

1 概括的な調査研究

(1) 各活動の楽曲数と我が国や郷土の音楽、諸外国の音楽等が扱われている楽曲数

○「A表現」及び「B鑑賞」

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
A表現	歌唱	37	34	29	28	27	28	183
	器楽	7	9	18	11	12	10	67
	音楽づくり	7	7	8	5	4	4	35
B鑑賞	鑑賞	13	15	18	14	11	7	78

※活動内容によって「A表現」「B鑑賞」の両方に含んでいる場合がある。

※巻頭、巻末の楽曲を含む。

○我が国や郷土の音楽、諸外国の音楽の曲数

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
8	11	11	14	17	3	64

※我が国や郷土の音楽は、我が国のわらべ歌・民謡・古謡・長唄・雅楽・我が国の伝統楽器を使用した音楽、諸外国の音楽は、諸外国の遊び歌・民謡・民族音楽とする。

(2) 「A表現」と「B鑑賞」が関連する編集上の工夫

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
「A表現」と「B鑑賞」	5	7	5	4	3	5	29
「A表現」のみ	2	0	1	3	3	1	10
「B鑑賞」のみ	0	1	2	1	1	1	6

※巻末の楽曲は含んでいない。

2 学習指導要領に関すること

- 歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の内容が関連付けて構成されている。
- 主題による題材構成に配慮した教材が選択されており、多様な活動が展開できるように示されている。
- 題材ごとに学習活動、目標及び目標を達成するための教材、手順等が段階的に示されており、目標の達成を確認するための項目が示されている。
- 鑑賞教材において、学年に応じて、感じたことを言葉で書き込める欄や、聴く際の道筋となる図形楽譜や主な旋律、楽器による曲の進み方が示されている。
- 鑑賞教材において、その音楽が作られた背景等の説明が記されている。
- 〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素が「音楽のもと」として、ページ右上に示されている。
- 内容が、題材の中で段階的に学びがつながるように構成・配列されている。
- 「Short Time Learning (英語の歌)」が、全学年で設定されており、外国語活動及び外国語科との関連が図られている。

- 第1, 2学年では, 体を動かしながら歌えるわらべうたや遊び歌が設定されており, 遊びながら楽しくリズム打ちをすることができるようになっている。
- 我が国や郷土の伝統音楽について, 体験する活動が示されている。
- 他教科等と関連する教材が示されている。
- 第1学年の教科書では, 挿絵を使った教材やペアまたはグループで歌う活動等が取り扱われ, スタートカリキュラムに配慮した導入になっている。
- 「音楽づくり」では, 学習の手順を細かく示すとともに, 記譜や読譜の学習やプログラミング的思考と関連付けて学習できるように示されている。

3 実生活との関わり, 興味・関心について

- わらべうたの学習では, 学習したことを, 学校生活や家庭でも共有できる活動が示されている。
- 音楽への興味・関心を高めたり, 我が国や郷土の文化に親しみをもてたり, 多様性を理解したりできるように, 様々な鑑賞教材が取り上げられている。
- 第4～6学年で, 各分野の著名人の特集が取り上げられ, 音楽が人々に感動を与えたり生活を潤したりするものとして紹介されている。
- 郷土の祭りや芸能を紹介する際に, 同世代の児童たちが参加している様子が写真で示されている。
- 生活の中の音や自然の音等, 身の回りの音が取り上げられ, その音の面白さに気付き, その音がもつ働きや役割について考えることができるようになっている。
- 第6学年では, 復興, オリンピック・パラリンピックと関わりがある楽曲及び資料が示されている。

4 表記や表現, 資料等に関すること

- 第1, 2学年はA B判, 第3学年以上はA 4判になっている。
- 学習活動の見通しをもたせるキャラクターの言葉が示されている。
- 全学年にQRコードが掲載されており, 音声や映像の内容が示されている。
- 児童の体の動き, 楽器演奏, 歌詞の内容等が, イラストや写真で示されている。
- 書体や色使いやレイアウト等に, ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。
- 演奏家のメッセージが記されており, それを参考に表現したり鑑賞したりできるように配慮されている。
- 全学年に「にっぽんのうた みんなのうた」として教材が掲載されている。
- 我が国に伝わる風習や風景を紹介する写真や文章が記されている。
- 第3～6学年では, 歌詞の内容に合わせた折り込み資料が掲載されている。
- オプション教材があり, 各学校の実態に合わせて選択することができるようになっている。
- 巻末に, 「音楽を表すいろいろな言葉」が記され, 感受を表す言葉の例や, 授業で出た言葉を記述できる欄が設定されている。
- 児童が気付いたことや自分の考えを, 音や言葉を使って他者と交流できるように, キャラクターによる吹き出しが示されている。
- 第1, 2学年では, 拍を示すマークが付けられている。また, 第3学年から第5学年は必要に応じて示されている。
- リコーダーの指づかいが折り込みページに示されており, 広げて使えるようになっている。

1 概括的な調査研究

(1) 各活動の楽曲数と我が国や郷土の音楽、諸外国の音楽等が扱われている楽曲数

○「A表現」及び「B鑑賞」

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
A表現	歌唱	38	35	23	23	20	21	160
	器楽	15	13	22	13	8	8	79
	音楽づくり	7	7	5	5	2	2	28
B鑑賞	鑑賞	10	14	10	14	12	12	72

※活動内容によって「A表現」「B鑑賞」の両方に含んでいる場合がある。

※巻頭、巻末の楽曲を含む。

○我が国や郷土の音楽や諸外国の音楽の曲数

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
9	15	8	7	6	8	53

※我が国や郷土の音楽は、我が国のわらべ歌・民謡・古謡・長唄・雅楽・我が国の伝統楽器を使用した音楽、諸外国の音楽は、諸外国の遊び歌・民謡・民族音楽とする。

(2) 「A表現」と「B鑑賞」が関連する編集上の工夫

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
「A表現」と「B鑑賞」	8	8	5	7	6	4	38
「A表現」のみ	3	3	6	1	2	4	19
「B鑑賞」のみ	0	0	0	1	0	0	1

※巻末の楽曲は含んでいない。

2 学習指導要領に関すること

- 歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の内容が関連付けて構成されている。
- 主題による題材構成に配慮した教材が選択されており、多様な活動が展開できるように示されている。
- 題材ごとに学習活動、目標及び目標を達成するための手順等が明確に示されており、目標の達成を確認するための項目が示されている。
- 鑑賞教材において、学年に応じて、感じたことを言葉で書き込める欄や、聴く際の道筋となる図形楽譜や主な旋律、楽器による曲の進み方が示されている。
- 鑑賞教材において、その音楽が作られた背景等の説明が記されている。
- 〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素がページ右下に示されている。
- 内容が、題材の中で段階的に学びがつながるように構成・配列されている。
- 「英語の歌」が、第4～6学年で設定されており、外国語活動及び外国語科との関連が図られている。

- 第1, 2学年では, 体を動かしながら歌えるわらべうたや遊び歌が設定されており, 遊びながら楽しくリズム打ちをすることができるようになっている。
- 我が国や郷土の伝統音楽について, 体験する活動が示されている。
- 他教科等と関連する教材が示されている。
- 第1学年の教科書では, 挿絵を使った教材やペアまたはグループで歌う活動等が取り扱われ, スタートカリキュラムに配慮した導入になっている。
- 「音楽づくり」では, 学習の手順を細かく示すとともに, 記譜や読譜の学習やプログラミング的思考と関連付けて学習できるように示されている。

3 実生活との関わり, 興味・関心について

- わらべうたの学習では, 学習したことを, 学校生活や家庭でも共有できる活動が示されている。
- 音楽への興味・関心を高めたり, 我が国や郷土の文化に親しみをもてたり, 多様性を理解したりできるように, 様々な鑑賞教材が取り上げられている。
- 第4～6学年で, 各分野の著名人の特集が取り上げられ, 音楽が人々に感動を与えたり生活を潤したりするものとして紹介されている。
- 郷土の祭りや芸能を紹介する際に, 同世代の児童が参加している様子が写真で示されている。
- 生活の中の音や自然の音等, 身の回りの音を取り上げられ, その音の面白さに気付き, その音がもつ働きや役割について考えることができるようになっている。
- 第5, 6学年で, 音や音楽が, 復興, パラリンピック, スポーツと関わりがあることが示されている。

4 表記や表現, 資料等に関すること

- 全学年の教科書の表紙を並べると, 表紙のイラストがつながり, 一つの大きなイラストになるように構成されている。
- 学習活動の見通しをもたせるキャラクターの言葉が示されている。
- 全学年にQRコードが掲載されており, 音声や映像の内容が示されている。
- 児童の体の動き, 楽器演奏, 歌詞の内容等が, イラストや写真で示されている。
- 書体や色使いやレイアウト等に, ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。
- 演奏家のメッセージが記されており, それを参考に表現したり鑑賞したりできるように配慮されている。
- 全学年に「歌いつごう 日本の歌」が設定されている。
- 我が国に伝わる風習や風景を紹介する写真や文章が掲載されている。
- 全学年の巻頭に, 1年間の学習の見通しをもつためのページが設定されている。
- 全学年の裏表紙に, 郷土芸能の写真が掲載されている。
- 第4～6学年では, 「音楽の歴史をつくった人」が設定されている。
- 巻末に「ふり返りのページ」として, 学習事項を一覧で見ることができるようまとめられている。
- 児童が気付いたことや自分の考えを, 音や言葉を使って他者と交流できるように, キャラクターによる吹き出しが示されている。
- 全学年で, 拍を示すマークが付けられている。

令和2年度使用
小学校用教科用図書
採択参考資料

図画工作

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号
9 開隆堂	図工 101・102・301・302・501・502
116 日文	図工 103・104・303・304・503・504

図画工作科

I 教科用図書の調査研究に当たって

1 調査対象教科用図書

9 開隆堂 116 日文

2 調査研究の観点

- (1) 表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色など豊かに関わる資質・能力を育成することができる内容であるか。
- (2) 個性を生かして活動することができるよう配慮されており、児童の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。
- (3) 「A表現」と「B鑑賞」の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。
- (4) 表記や表現が適切であり、各ページの資料や紙面のデザイン等が学習意欲を喚起するよう配慮されているか。

3 調査研究に対する基本的な考え方

- (1) 偏りのない公正な立場で調査研究を行っている。
- (2) 調査研究の資料を通して、教科用図書の特徴が明らかになるよう配慮している。
- (3) 記述に当たっては、教科用図書の内容を具体的に取り上げるようにし、調査員の主観に陥らないようにしている。
- (4) 採択の関係者が、見やすく分かりやすいよう配慮している。

II 採択参考資料の見方について

1 各教科用図書の発行者の記載順序は、発行者の番号順としている。

2 各教科用図書の調査票は、記載順序に従って配列してある。

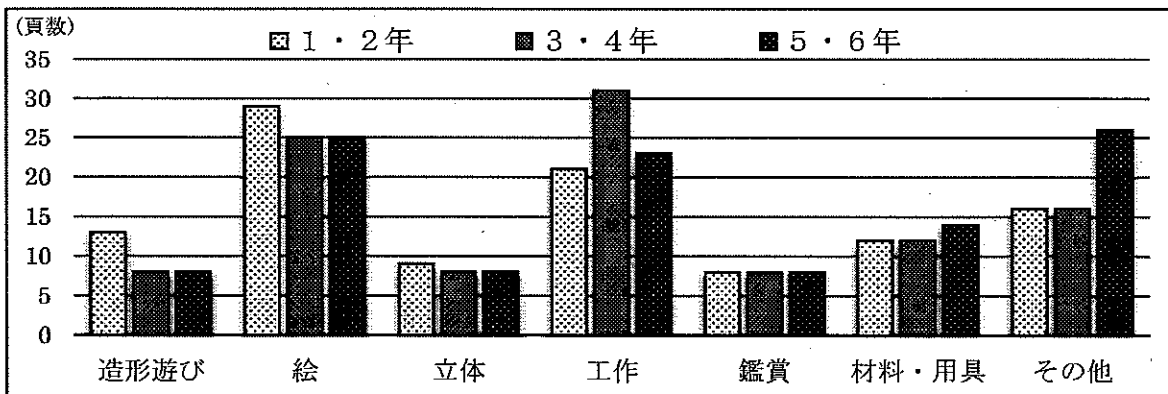
3 調査票の調査研究項目は、調査研究の観点についてまとめている。

- (1) 概括的な調査研究…………… 観点(1)(3)(4)
 - ① 領域別のページ構成
 - ② 掲載作品の構成
- (2) 学習指導要領に関する事…………… 観点(1)
- (3) 児童の実態や地域の実情に関する事…………… 観点(2)
- (4) 内容の構成・配列に関する事…………… 観点(3)
- (5) 表記や表現、資料等に関する事…………… 観点(4)

1 概括的な調査研究

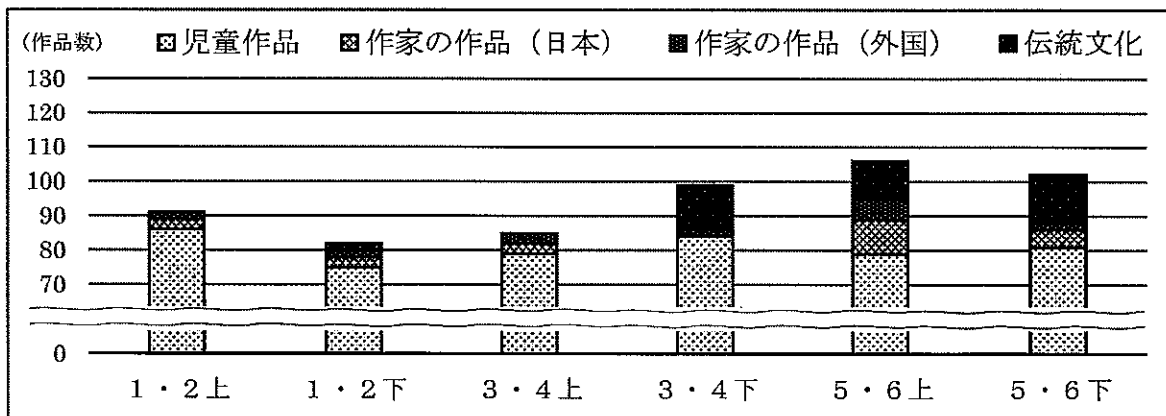
(1) 領域別のページ構成

	造形遊び	絵	立体	工作	鑑賞	材料用具	その他	合計
1・2上	7	15	5	9	4	6	8	54
1・2下	6	14	4	12	4	6	8	54
3・4上	4	13	4	15	4	6	8	54
3・4下	4	12	4	16	4	6	8	54
5・6上	4	12	4	12	4	6	14	56
5・6下	4	13	4	11	4	8	12	56



(2) 掲載作品の構成

	児童作品	作家の作品 (日本)	作家の作品 (外国)	伝統文化	合計
1・2上	86	3	2	0	91
1・2下	75	3	2	2	82
3・4上	79	3	3	0	85
3・4下	84	0	2	13	99
5・6上	79	10	6	11	106
5・6下	81	5	2	14	102



2 学習指導要領に関すること

- 資質・能力の3つの柱に基づいた学習のめあてが示されており、活動全体を通してめあてを意識して学習することができるようにされている。
- 活動を通して特に重点的に育てたい力を表すめあてを示し、活動後に振り返ることができるようにされている。
- 巻頭に、図画工作科を学ぶ意義について、児童向けの言葉で示されている。
- 裏表紙に、図画工作科を学ぶ意義について、保護者向けのメッセージが掲載されている。
- 巻末に、材料や用具の使い方を紹介する「造形の引き出し」があり、6年間を通じて、幅広い表現が身に付くように構成されている。
- 「ひらめきコーナー」では、身近な材料を使って工作に表す活動の具体例が示されている。

3 児童の実態や地域の実情に関すること

- 表紙に、児童の作品が示され、裏表紙に作者の作品への思いが紹介されている。
- 題材に応じて「安全」や「かたづけ」が示されている。それぞれ囲みを設け写真やイラストを多用して具体的に示されている。
- 伝統文化・郷土の民芸品等について、児童が実際に伝統技法を使った題材で活動している事例が紹介されている。
- 児童にとって身近なテーマを取り上げ、生活や社会と美術との働きに着目させる内容になっている。
- 製作の手順やポイント、用具の使い方の動画を紹介するQRコードが記載されている。

4 内容の構成・配列に関すること

- 題材が「造形遊び」「絵」「立体」「工作」「鑑賞」の5つに分類され、マークで示されている。
- 「みんなのギャラリー」では、様々な地域の造形的な取組について活動の様子や作品等の写真が紹介されている。
- 他教科との関連がある題材に、教科名等が示されている。
- 日本及び世界の国々の題材が幅広く取り上げられており、日本文化の多様性に目を向けさせる工夫がされている。
- 外国の児童作品が掲載されており、国際理解について考える機会が与えられている。
- 鑑賞の題材が設定され、形や色等による造形的なよさや美しさ、表し方等について自分の見方や感じ方を深める機会が与えられている。

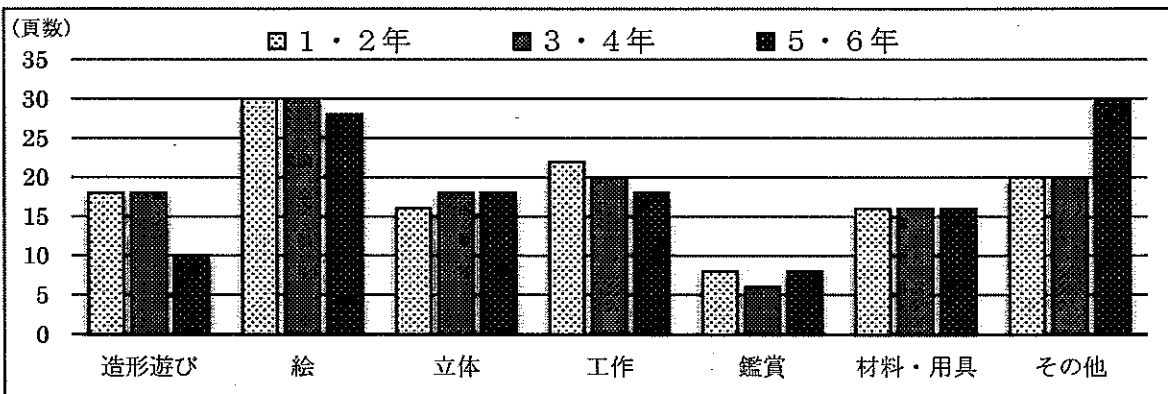
5 表記や表現、資料等に関すること

- 児童が活動する様子やその表情が分かる写真が使用されている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点を取り入れられている。
- 題材のリード文はフォントを大きくし、太字で示されている。
- 題材ごとに、使用する用具が、文字とイラストで提示されている。
- 資質・能力の3つの柱に「くふうさん」「ひらめきさん」「こころさん」というキャラクターが設定され、各題材の冒頭に、学習のめあてとともに示されている。
- 裏表紙に、形や色に関わる簡単な活動である「自分のマークをかきましょう」が示されている。

1 概括的な調査研究

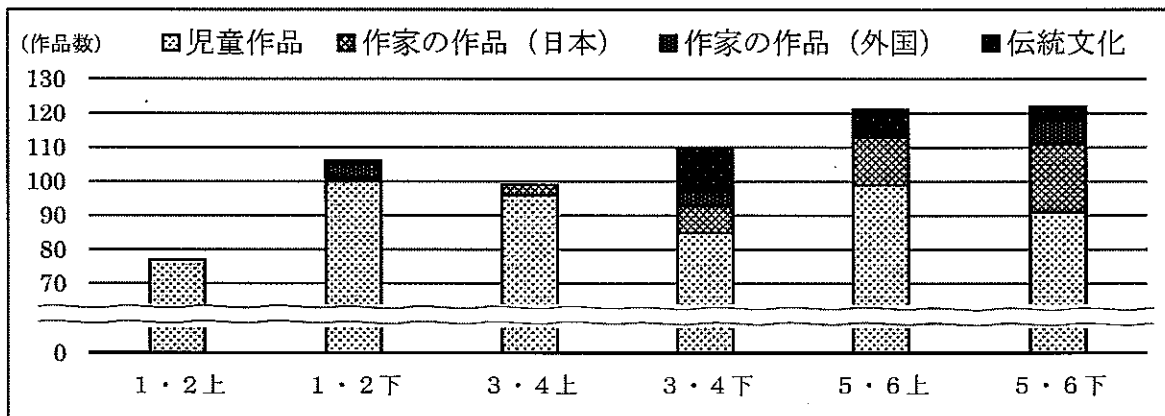
(1) 領域別のページ構成

	造形遊び	絵	立体	工作	鑑賞	材料用具	その他	合計
1・2上	10	14	8	12	4	8	10	66
1・2下	8	16	8	10	4	8	10	64
3・4上	8	16	10	10	2	8	10	64
3・4下	10	14	8	10	4	8	10	64
5・6上	4	16	10	8	4	8	14	64
5・6下	6	12	8	10	4	8	16	64



(2) 掲載作品の構成

	児童作品	作家の作品 (日本)	作家の作品 (外国)	伝統文化	合計
1・2上	77	0	0	0	77
1・2下	100	1	4	1	106
3・4上	96	3	0	0	99
3・4下	85	8	4	13	110
5・6上	99	14	1	7	121
5・6下	91	20	7	4	122



2 学習指導要領に関すること

- 資質・能力の3つの柱に基づいた学習のめあてが示されており、活動全体を通してめあてを意識して学習することができるようにされている。
- 題材ごとに、個人のよい点や可能性、進歩の状況について、活動後に振り返ることができるようにされている。
- 巻頭に、図画工作科を学ぶ意義について、児童向けの言葉で示されている。
- 巻頭に、図画工作科を学ぶ意義について、保護者向けのメッセージが掲載されている。
- 巻末に、材料や用具の使い方を紹介する「使ってみよう 材料と用具」があり、6年間を通じて、幅広い表現が身に付くように構成されている。
- 「ひらめきポケット」では、造形的な見方・考え方を働かせる様々な体験が紹介されている。

3 児童の実態や地域の実情に関すること

- 表紙に、児童の作品が示されている。裏表紙に作者の作品への思いが紹介されている。
- 題材に応じて、「きをつけよう」や「かたづけ」が示されており、用具を使用する際の安全面での配慮事項や片付けのポイントが掲載されている。また、「かたづけ」では材料の再利用や分別を促すなど、環境に対する配慮がなされている。
- 伝統文化・郷土の民芸品等について、児童が実際に伝統技法を使った題材で活動している事例が紹介されている。
- 児童にとって身近なテーマを取り上げ、生活や社会と美術との働きに着目させる内容になっている。
- 児童の実態や学校の実情に応じて活動を選択できるように、複数の実践例を紹介した題材が掲載されている。

4 内容の構成・配列に関すること

- 題材が「造形遊びをする活動」「絵に表す活動」「立体に表す活動」「工作に表す活動」「鑑賞する活動」の5つに分類され、マークで示されている。
- 「教科書美術館」では、作品の細部まで観察できるように大きな図版で掲載されており、鑑賞の手立てや児童の表現活動につながる内容が紹介されている。
- 道徳との関連がある題材に、マークが示されている。
- 日本及び世界の国々の題材が幅広く取り上げられており、日本文化の多様性に目を向けさせる工夫がされている。
- 外国の児童作品が掲載されており、国際理解について考える機会が与えられている。
- 鑑賞の題材が設定され、形や色等による造形的なよさや美しさ、表し方等について自分の見方や感じ方を深める機会が与えられている。

5 表記や表現、資料等に関すること

- 児童が活動する様子やその表情が分かる写真が使用されている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。
- 題材のリード文に具体的な活動の方向性が示されている。
- 題材ごとに、使用する用具が、マークで提示されている。マークの見方については、目次に示されている。
- 「形や色のちろたん」というキャラクターが設定され、児童が発想をもったり工夫したりする際のヒントにつながる吹き出しが示されている。
- 裏表紙に、形や色に関わる簡単な活動である「形や色を楽しもう」が示されている。

令和2年度使用
小学校用教科用図書
採択参考資料

家 庭

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号
2 東書	家庭 501
9 開隆堂	家庭 502

家 庭

I 教科用図書の調査研究に当たって

1 調査対象教科用図書

2 東書 9 開隆堂

2 調査研究の観点

- (1) 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成することができる内容であるか。
- (2) 家庭や地域との連携を図ることができるよう配慮されており、児童の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。
- (3) 各題材の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。
- (4) 写真、図表、資料等が適切であり、他の題材との関連を示すなど学習内容の理解や問題の解決に役立つよう配慮されているか。

3 調査研究に対する基本的な考え方

- (1) 偏りのない公正な立場で調査研究を行っている。
- (2) 調査研究の資料を通して、教科用図書の特徴が明らかになるよう配慮している。
- (3) 記述に当たっては、教科用図書の内容を具体的に取り上げるようにし、調査員の主観に陥らないようにしている。
- (4) 採択の関係者が、見やすく分かりやすいよう配慮している。

II 採択参考資料の見方について

1 各教科用図書の発行者の記載順序は、発行者の番号順としている。

2 各教科用図書の調査票は、記載順序に従って配列してある。

3 調査票の調査研究項目は、調査研究の観点についてまとめている。

- (1) 概括的な調査研究 観点(1)～(4)
 - ① 内容別の構成
 - ② 学習内容の理解や問題の解決につながる関連表示
 - ③ 学習内容の理解や問題の解決につながる課題や事例
 - ④ 題材構成数
- (2) 問題解決的な学習に関すること 観点(1)
- (3) 児童や学校、地域の実態に関すること 観点(2)
- (4) 各題材の構成等に関すること 観点(3)
- (5) 表記や表現、資料等の工夫に関すること 観点(4)

1 概括的な調査研究

(1) 内容別の構成

	題材	小題材	頁	図表	動画コンテンツ	写真	参考・資料
A 家族・家庭生活	4	12	21	2	0	37	11
(生活の課題と実践)			5	0	0	8	0
B 衣食住の生活	10	30	89	39	14	256	37
C 消費生活・環境	1	3	8	8	0	0	3
合計	15	45	123	49	14	314	51

※図表は「図」のマーク数。

※動画コンテンツはQRコードから読み取った動画のコンテンツ数。

※写真は図表、参考・資料に含まれていないものの枚数。

※参考・資料は「資料」「プロに聞く」のマーク数。

(2) 学習内容の理解や問題の解決につながる関連表示

	他題材等との関連	他教科との関連	現代的な諸課題に関する教科等横断的な教育内容との関連	中学校との関連	発展
A 家族・家庭生活	1	6	7	0	0
(生活の課題と実践)	5	0	0	0	0
B 衣食住の生活	24	23	49	4	1
C 消費生活・環境	0	0	1	0	2
合計	30	29	57	4	3

※A～Cのそれぞれの内容を主とする題材での数。

※他題材等との関連は、他題材ページへの「リンク」のマーク数。

※他教科との関連、中学校との関連は、マークで示す数。

※教科等横断的な教育内容との関連は、「安全」「環境」「伝統」「日々の備え」のマーク数。

※発展は、「発展」のマーク数。

(3) 学習内容の理解や問題の解決につながる課題や事例

	設定課題	実践的・体験的な課題や事例	家庭等での実践を促す課題	発展課題
A 家族・家庭生活	4	8, (3)	0	0
(生活の課題と実践)	0	0, (0)	15	0
B 衣食住の生活	15	36, (36)	0	0
C 消費生活・環境	4	1, (1)	0	0
合計	23	45, (40)	15	0

※A～Cのそれぞれの内容を主とする題材での数。

※設定課題は「考えよう」「話し合おう」の箇所数。

※実践的・体験的な課題は「調べよう」「やってみよう」「深めよう」の箇所数。()は手順が掲載されている実践的・体験的な事例の数。

※家庭等での実践を促す課題は「生活を変えるチャンス」にある実践、課題の数。

(4) 題材構成数 (全15題材)

内容A	3	内容B	8	内容C	1	内容AB	1
内容AC	0	内容BC	2	内容ABC	0		

2 問題解決的な学習に関すること

- 教科書の全ての大題材が「見つめよう」「計画しよう・実践しよう」「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3つのステップの問題解決的な学習の構成となっている。
- 全ての小題材に「深めよう」「調べよう」「話し合おう」等、1つ以上の活動が設定されている。
- 第3小題材「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」及び「活動 深めよう」では学習内容を生活に結び付ける方法例が示されている。
- 技能を扱うページには「できたかな」が設定されており、実習に当たってのポイントが示され、学習成果を確かめられるようになっている。
- 生活の課題と実践を「生活を変えるチャンス!」として設定されており、学んだ知識・技能等を活用し、小題材で学んだ3ステップを生かして解決していく内容になっている。
- 全ての大題材の最初に見方・考え方が「家庭科の窓」として掲載されている。

3 児童や学校、地域の実態に関すること

- 活動例や実習例が複数提示され、選択できるようになっている。
- 和食の特徴や郷土食、伝統文化が取り上げられている。また、地域や家族の一員として活動を促す内容が掲載されている。
- 「生活の課題と実践」の実践例が進め方とともに5つ、その課題例が3つずつ掲載されている。また、まとめ・発表の方法が5パターン掲載されている。
- 基礎技能として取り上げられている「いつも確かめよう」は、実習とセットになっている。

4 各題材の構成等に関すること

- 全ての小題材の最初に学習の「めあて」、終わりに「ふり返ろう」が設けられている。
- 学習内容、実習内容ともに、基礎・基本から応用へ、児童の発達段階に応じて系統的に配列されており、第6学年では第5学年で学ぶ技能を再度使い、活用する場面が設定されている。
- 全ての大題材の導入にタイトル、リード文、学習の流れ、児童に身近な家庭や学校の場面の写真・イラストが掲載されている。

5 表記や表現、資料等の工夫に関すること

- 学習指導要領の指定題材は、A4判の紙面を生かした写真や動画コンテンツを使って学習できるようにしている。
- 巻頭では「安全に実習をしよう」が設けられている。巻末では、A4判の紙面を生かし、調理実習技能、製作実習技能の写真やイラストが掲載されている。
- 脚注には、家庭科に関係のある英単語、家庭科に関する用語が掲載されている。
- 教科書の表紙と目次等を使ってガイダンスが行えるようになっており、2年間の学習が見通せるようになっている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り込められている。
- 実習や製作の手順が示されているところには、手順が横流れに配置されている。

1 概括的な調査研究

(1) 内容別の構成

	題材	小題材	頁	図表	動画コンテンツ	写真	参考・資料
A 家族・家庭生活	5	14	16	6	0	24	3
(生活の課題と実践)			4	0	0	4	0
B 衣食住の生活	13	39	85	61	99	270	17
C 消費生活・環境	2	6	8	3	1	0	1
合計	20	59	113	70	100	298	21

※図表は「□」の表示数。

※動画コンテンツはQRコードから読み取った動画のコンテンツ数。

※写真は図表、参考・資料に含まれていないものの数

※参考・資料は「参考」「…に関わる人」のマーク数。

(2) 学習内容の理解や問題の解決につながる関連表示

	他題材等との関連	他教科との関連	現代的な諸課題に関する教科等横断的な教育内容との関連	中学校との関連	発展
A 家族・家庭生活	6	3	1	(1)	0
(生活の課題と実践)	0	0	0	0	0
B 衣食住の生活	50	39	42	(1)	0
C 消費生活・環境	4	2	3	(1)	0
合計	60	44	46	(3)	0

※A～Cのそれぞれの内容を主とする題材での数。

※他題材等との関連は、他題材ページへの矢印のマーク数。

※他教科との関連は「関連」の表示数。

※教科等横断的な教育内容との関連は、「安全」「環境」「消費」「防災」「伝統」のマーク数。

※中学校との関連は、2年間の振り返りのページに記載されている数。

(3) 学習内容の理解や問題の解決につながる課題や事例

	設定課題	実践的・体験的な課題や事例	家庭等での実践を促す課題	発展課題
A 家族・家庭生活	1	2, (5)	5	0
(生活の課題と実践)	0	0, (0)	3	0
B 衣食住の生活	19	18, (39)	8	2
C 消費生活・環境	2	1, (2)	0	0
合計	22	21, (46)	16	2

※A～Cのそれぞれの内容を主とする題材での数。

※設定課題は「考えよう」「話し合おう」「まとめよう」「交流しよう」の箇所数。

※実践的・体験的な課題は「調べよう」「やってみよう」の箇所数。()は手順が掲載されている実践的・体験的な事例の数。

※家庭等での実践を促す課題は「家庭で実践しようチャレンジコーナー」「レッツトライ生活の課題と実践」にある実践、課題の数。

※発展課題は「発展」のマーク数。

(4) 題材構成数 (全20題材)

内容A	5	内容B	12	内容C	2	内容AB	0
内容AC	0	内容BC	1	内容ABC	0		

2 問題解決的な学習に関すること

- 教科書の全ての大題材が「見つける・気づく」「わかる・できる」「生かす・深める」の3ステップの問題解決的な学習の構成となっている。
- 全ての大題材の中に「考えよう」「まとめよう」「話し合おう」等の活動が設定されている。
- 第3小題材「生かす・深める」では学習内容を生活に結び付ける方法例が示されている。
- 技能を扱うページには「できたかな」が設定されており、学習成果を確かめられるようになっている。
- 「生活の課題と実践」の他に、「チャレンジコーナー」が5か所設けられ、学んだことを家庭実践につなげられるようになっている。
- 教科書全体にわたって、見方・考え方の4つの視点がマークで示されている。

3 児童や学校、地域の実態に関すること

- 調理実習例、製作例には難易度によって★マークが記載されている。
- 地域性を生かした食材や郷土食、伝統文化が取り上げられている。また、家庭や地域の活動への参加を促す内容が掲載されている。
- 「生活の課題と実践」を行うための課題例が進め方とともに3つ掲載されている。
- 技能を身に付ける場面では、右利き、左利き両方の動画コンテンツが用意されている。

4 各題材の構成等に関すること

- 全ての大題材の最初に「学習のめあて」、終わりに「ふり返ろう」が設けられている。
- 学習内容、実習内容ともに、基礎・基本から応用へ、児童の発達段階に応じて系統的に配列されており、反復学習をしながら基礎・基本の定着を図るよう設定されている。
- 全ての大題材の導入にタイトル、リード文、フォトランゲージを意識した写真やイラストが掲載されている。

5 表記や表現、資料等の工夫に関すること

- 学習指導要領の指定題材は、写真や動画コンテンツを使って学習できるようになっている。
- 「プログラミング」「伝統文化」「安全に配慮した実習」に関するページが設けられている。また、巻頭、巻末の資料には19の動画コンテンツが掲載されている。
- 脚注には、一口メモ、家庭科に関係のある英単語と日本語表記が掲載されている。
- 「ガイダンス」では、学習する内容が空間軸と時間軸で整理されており、2年間の学習を見通せるようになっている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入力されている。
- 実習・製作の手順を示しているところには、背景に色が使われており、手順が横流れに配置されている。

令和2年度使用
小学校用教科用図書
採択参考資料

保 健

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号
2 東書	保健 301・501
4 大日本	保健 302・502
207 文教社	保健 303・503
208 光文	保健 304・504
224 学研	保健 305・505

保 健

I 教科用図書の調査研究に当たって

1 調査対象教科用図書

2 東書 4 大日本 207 文教社 208 光文 224 学研

2 調査研究の観点

- (1) 健康や安全に関する課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、知識及び技能を確実に習得できる内容であるか。
- (2) 心身の発達段階に適応した健康の課題が取り上げられており、児童の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。
- (3) 「健康な生活」「体の発育・発達」「心の健康」「けがの防止」及び「病気の予防」の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。
- (4) 挿絵、写真、図表等が適切であり、健康への関心を高め、課題の解決に役立つよう配慮されているか。

3 調査研究に対する基本的な考え方

- (1) 偏りのない公正な立場で調査研究を行っている。
- (2) 調査研究の資料を通して、教科用図書の特徴が明らかになるよう配慮している。
- (3) 記述に当たっては、教科用図書の内容を具体的に取り上げるようにし、調査員の主観に陥らないようにしている。
- (4) 採択の関係者が、見やすく分かりやすいよう配慮している。

II 採択参考資料の見方について

1 各教科用図書の発行者の記載順序は、発行者の番号順としている。

2 各教科用図書の調査票は、記載順序に従って配列してある。

3 調査票の調査研究項目は、調査研究の観点についてまとめている。

- (1) 概括的な調査研究…………… 観点(1)(2)(3)(4)
 - ①教科用図書名・サイズ
 - ②単元の構成
 - ③デジタル教材へのアクセス
 - ④ユニバーサルデザインに関する配慮について
- (2) 課題をつかむ導入や課題の配列に関すること…………… 観点(1)
- (3) 身近な生活に関わる課題と生活経験等に基づいた言語活動の取扱いに関すること… 観点(2)
- (4) 他領域・他教科等との関連や発展的な学習の取扱いに関すること…………… 観点(3)
- (5) 健康への関心や課題の解決につながる資料に関すること…………… 観点(4)

1 概括的な調査研究

- (1) 教科用図書名・サイズ 「新しいほけん 3・4年」 A4判 45ページ
 「新しい保健 5・6年」 A4判 81ページ

(2) 単元の構成

学年	学習指導要領の内容		題材数	ページ数	写真(枚)	表グラフ(個)	対話的な学習	学びの活用	発展学習
3・4年	健康な生活	ア 健康な生活	1	6	6	0	3	1	1
		イ 1日の生活の仕方	2	8	22	1	2	2	2
		ウ 身の回りの環境	1	4	7	0	1	1	1
	体の発育・発達	ア 体の発育・発達	1	6	5	10	1	1	1
		イ 思春期の体の変化	1	6	6	2	1	1	1
		ウ 体をよりよく発育・発達させるための生活	1	4	4	0	1	1	2
5・6年	心の健康	ア 心の発達	1	4	1	0	1	1	0
		イ 心と体との密接な関係	1	4	1	2	1	1	1
		ウ 不安や悩みへの対処	1	6	2	3	1	1	1
	けがの防止	ア 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがとその防止	4	20	39	9	4	4	5
		イ けがの手当	1	6	8	2	1	1	3
	病気の予防	ア 病気の起こり方	1	4	1	1	1	1	0
		イ 病原体が主な要因となって起こる病気の予防	1	4	9	0	2	1	2
		ウ 生活行動が主な要因となって起こる病気の予防	1	6	8	3	1	1	1
		エ 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康	3	12	20	5	3	3	3
		オ 地域の様々な保健活動の取組	1	4	28	0	1	1	0

※ページ数は、中表紙や単元全体の振り返りのページを除いている。

※「対話的な学習」は、「調べる・解決する」の中の対話的な学びの箇所数及び「深める・伝える」の箇所数。

※「学びの活用」は、「まとめる・生かす」の箇所数。

※「発展学習」は、「はってん」の項目数。

(3) デジタル教材へのアクセス

○QRコードとともに、インターネットで視聴できることを示す「Dマーク」の説明が、巻頭に掲載されている。

○「Dマーク」のコンテンツには、動画、シミュレーション、アニメーション動画、実験動画が掲載されている。

(4) ユニバーサルデザインに関する配慮について

○書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。

2 課題をつかむ導入や課題の配列に関すること

- 各単元の始めに、何を、どのように学ぶかについて説明されている。
- 各題材の始めに「～みましょう」という表現で学習する内容が記載されている。
- 各時間の導入として「気づく・見つける」の活動が設定され、身の回りや普段の生活を振り返るなどして、健康の課題を確認するようになっている。
- 各時間の学習が、「気づく・見つける」、「調べる・解決する」、「深める・伝える」、「まとめる・生かす」、「資料」の学習過程になっている。
- 各単元の終わりに、知識及び技能の定着や学び方の振り返り、学んだことを生かして今後の生活の仕方を考える活動として「学習をふりかえろう」が設定されている。
- 「けがの手当」では、すり傷、切り傷、鼻血、ねんざ、打撲、つき指、やけどの手当を図示し、実習する内容を記載するなど、内容に応じて「実習」が設定されている。

3 身近な生活に関わる課題と生活経験等に基づいた言語活動の取扱いに関すること

- 学習活動の各段階で、気付いたことや分かったこと、考えたこと等を記述する鉛筆マーク等で示されたメモ欄があり、考えをまとめて話し合う活動が設定されている。
- 「深める・伝える」では、身近な健康課題について、学習したことを基に、自分の考えを説明するための記述欄が設けられている。
- 言語活動の手がかりや根拠となる資料が示されている。
- 「自分の気持ちや考えを上手に伝えよう」では、自分と相手の両方の気持ちを考えた言葉のやりとりについて考える学習活動が設定されている。

4 他領域・他教科等との関連や発展的な学習の取扱いに関すること

- 保健の学習内容と関連する運動領域や他教科の学習内容との関連について、各単元の始めと学習活動の各ページに「つなげよう」として示されている。
- 「不安やなやみがあるとき」では、技能として「リラックス状態を体験しよう（こきゅう法・軽い運動）」の実習が取り上げられている。
- 「はってん」では、学習内容に関わる発展的な内容を図や資料と共に示している。
- がんについては、「はってん」として取り上げ、「がんを防ぐための新12か条」を例に、がんの予防を中心に記載されている。
- 性の多様性については、「思春期にあらわれる変化」で、個人差があり、「思春期にあらわれる体や心の変化や自分の性について、不安になったり、気になったりすることがあれば、保健室の先生や、信らいてくれる人に相談しましょう」と説明されている。

5 健康への関心や課題の解決につながる資料に関すること

- 各単元の始めの「気づく・見つける」には、2ページにまたがるサイズの写真を掲載している。
- 「調べる・解決する」では、写真や図・表等の資料が示されている。
- 5・6年の巻頭には、情報を集めて学習や生活に生かす方法が提示されている。
- 「まめちしき」として学習内容に関する追加の解説が示されている。
- 「資料」として、内容の理解や課題の解決につながる科学的な資料が、写真や図を用いて取り上げられている。
- 健康への関心に関わる自己評価について、「どんな自分になりたいかな」が、3・4年の巻頭と5・6年の巻末に掲載されている。
- 学習内容と関連させて、オリンピック・パラリンピックアスリートの実践例や考え方について紹介されている。

1 概括的な調査研究

- (1) 教科用図書名・サイズ 「たのしいほけん 3・4年」 AB判 37ページ
 「たのしい保健 5・6年」 AB判 57ページ

(2) 単元の構成

学年	学習指導要領の内容		題材数	ページ数	写真(枚)	表紙(個)	対話的な学習	学びの活用	発展学習
3・4年	健康な生活	ア 健康な生活	1	2	1	0	2	1	0
		イ 1日の生活の仕方	2	7.5	12	1	2	2	0
		ウ 身の回りの環境	1	2.5	4	0	1	1	0
	体の発育・発達	ア 体の発育・発達	1	3	5	9	0	0	2
		イ 思春期の体の変化	2	6.5	5	1	1	1	0
		ウ 体をよりよく発育・発達させるための生活	1	2.5	4	1	0	1	1
5・6年	心の健康	ア 心の発達	1	2	1	1	2	1	0
		イ 心と体との密接な関係	1	2	1	0	1	1	0
		ウ 不安や悩みへの対処	1	4	3	2	2	1	0
	けがの防止	ア 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがとその防止	4	10	25	10	4	4	3
		イ けがの手当	1	2	2	0	1	1	2
	病気の予防	ア 病気の起こり方	1	2	2	0	1	1	0
		イ 病原体が主な要因となって起こる病気の予防	1	4	9	0	0	1	1
		ウ 生活行動が主な要因となって起こる病気の予防	2	4.5	7	2	1	2	1
		エ 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康	3	7	19	0	1	3	3
		オ 地域の様々な保健活動の取組	1	2.5	5	0	0	1	0

※ページ数は、中表紙や単元全体の振り返りのページを除いている。

※「対話的な学習」は、「話し合ってみよう」の箇所数。

※「学びの活用」は、「活用して深めよう」の箇所数。

※「発展学習」は、「はってん」の項目数。

(3) デジタル教材へのアクセス

○QRコードが、巻頭の「教科書に使われているマーク」に掲載されており、「たのしいほけん(保健)ウェブ」にアクセスできるようになっている

○「たのしいほけん(保健)ウェブ」には、学習に関する動画や資料が掲載されている。

(4) ユニバーサルデザインに関する配慮について

○書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。

2 課題をつかむ導入や課題の配列に関すること

- 各単元の始めに、何を、どのように学ぶかについて説明されている。
- 各題材の始めに、「～でしょうか」という表現で学習する内容が記載されている。
- 各時間の導入として「話し合ってみよう」「やってみよう」の活動が設定され、身の回りや普段の生活を振り返るなどして、健康の課題を確認するようになっている。
- 各時間の学習が「やってみよう」、「話し合ってみよう」、本文で大切なことの確認、「活用して深めよう」の学習過程になっているが、単元により「やってみよう」「話し合ってみよう」の回数・順番が変化している。
- 各単元の終わりに学習内容が身に付いたか確認する「〇年のまとめ」では、観点別のチェック欄及び記入欄が設けられている。
- 「けがの手当」では、すり傷、切り傷、鼻血、やけど、ねんざ、打ぼく、虫さされの手当が図示され、実習する内容が「やってみよう」として設定されている。

3 身近な生活に関わる課題と生活経験等に基づいた言語活動の取扱いに関すること

- 学習内容に応じて、言語活動を行う「話し合ってみよう」が設定されている。
- 「不安やなやみがあるとき」では、「自分と友達の良いところ」についてカードに書き、伝え合う活動が設定されている。
- 言語活動の手がかりや根拠となる図や資料が示されている。
- 各単元のまとめに対話的な学習を振り返る項目として「真けんに考えたり、話し合ったりした(3・4年)」、「すすんで考えたり、話し合ったりした(5・6年)」が設定されている。

4 他領域・他教科等との関連や発展的な学習の取扱いに関すること

- 保健の学習内容と関連する運動領域や他教科の学習内容について「はってん」、「算数」、「6年ほけん」等の表記で示している。
- 「不安やなやみがあるとき」では、技能として「こきゅう法」と「体ほぐしの運動」の実習が取り上げられている。
- 「はってん」、「もっと知りたい!」では、学習内容に関わって、より詳しい資料や発展的な内容が記載されている。
- 健康に関する英語のことわざや、英語での会話のイラストを掲載している。
- がんについては、「はってん」として「がんになる危険性が低くなる5つの健康習慣」が示され、身近な人ががんが見つかったとき、「家族が支え合って、よりよく生きていくことが大切です」と漫画とともに表現されている。
- 「大人の体になるじゅんぴー②」では、「思春期には、自分や異性のことが気になり、仲よくしたいという気持ちが強くなったり、相手と気持ちがぶつかったりします」の記載とともに、「心の変化についても個人差がある」という説明になっている。

5 健康への関心や課題の解決につながる資料に関すること

- 「話し合ってみよう」「やってみよう」では、学習内容に関する写真や図・表等の資料が示されている。
- 「しりょう(資料)」として、学習内容に関する科学的な資料、専門家の話が、写真や図を用いて取り上げられている。
- 「ミニちしき」として、学習内容に関する追加の解説が示されている。
- 単元の始めに、学習内容に関する「わたしはどこかな?」の学習ゲームが掲載されている。
- 巻末のシールを活用した各観点の評価につながるチェック欄や記入欄が設けられている。
- オリンピック・パラリンピックのアスリートの言葉、健康への取組が掲載されている。

1 概括的な調査研究

- (1) 教科用図書名・サイズ 「わたしたちのほけん 3・4年」 A4判 33ページ
 「わたしたちの保健 5・6年」 A4判 53ページ

(2) 単元の構成

学年	学習指導要領の内容		題材数	ページ数	写真(枚)	表グラフ(個)	対話的な学習	学びの活用	発展学習
3・4年	健康な生活	ア 健康な生活	1	2	0	0	0	2	0
		イ 1日の生活の仕方	2	8	30	1	0	2	0
		ウ 身の回りの環境	1	3	2	0	0	1	0
	体の発育・発達	ア 体の発育・発達	1	3	0	10	1	1	0
		イ 思春期の体の変化	2	6	6	2	3	2	0
		ウ 体をよりよく発育・発達させるための生活	1	5	4	3	0	0	3
5・6年	心の健康	ア 心の発達	1	3	0	0	1	1	0
		イ 心と体との密接な関係	1	2	0	0	0	0	0
		ウ 不安や悩みへの対処	2	5	0	2	2	1	1
	けがの防止	ア 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがとその防止	3	11	33	10	5	5	1
		イ けがの手当	1	3	1	0	0	0	2
	病気の予防	ア 病気の起こり方	1	3	0	0	0	1	1
		イ 病原体が主な要因となって起こる病気の予防	1	4	11	2	0	1	2
		ウ 生活行動が主な要因となって起こる病気の予防	2	5	10	2	1	2	2
		エ 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康	3	8	23	2	3	3	4
		オ 地域の様々な保健活動の取組	1	2	1	0	0	0	1

※ページ数は、中表紙や単元全体の振り返りのページを除いている。

※「対話的な学習」は、「話し合ってみよう」の箇所数。

※「学びの活用」は、「新しい自分にレベルアップ」及び「学習したことを生かして取り組む内容」の印の箇所数。

※「発展学習」は、「発てん(発展)」の項目数。

(3) デジタル教材へのアクセス

○QRコードが、巻頭の「わたしたちといっしょに学習していきましょう」に掲載されており、「学習用WEBページ」にアクセスできるようになっている。

○「学習用WEBページ」には、動画や画像等のデジタル教材、学習内容に関するウェブサイトが掲載されている。

(4) ユニバーサルデザインに関する配慮について

○書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。

2 課題をつかむ導入や課題の配列に関すること

- 各単元の始めに、何を、どのように学ぶかについて説明されている。
- 各題材の始めに、「～だろう」という表現で学習する内容が記載されている。
- 各時間の導入として、「ふり返ってみよう」、「考えてみよう」、「話し合ってみよう」の活動が設定され、身の回りや普段の生活を振り返るなどして、健康の課題を確認するようになっている。
- 各時間の学習が、「ふり返ってみよう」「調べてみよう」「考えてみよう」「話し合ってみよう」「新しい自分にレベルアップ」で構成されており、学習過程は学習内容によって設定されている。
- 「新しい自分にレベルアップ」では、「あなたならどうする？」のように、学習したことを自分の生活にどのように生かすか考えたことを書くようになっている。
- 「けがの手当」では、傷、鼻血、やけど、つき指、ねんざ、打ぼくの手当が図示され、実習が「やってみよう」として設定されている。

3 身近な生活に関わる課題と生活経験等に基づいた言語活動の取扱いに関すること

- 学習内容に応じて、言語活動を行う「話し合ってみよう」が設定されている。
- 「不安やなやみへの対処②」では、「相談のしかた、受け方」の例が記載され、相談するとき心がけることについて考えを出し合う話合いの活動が設定されている。
- 言語活動の手がかりや根拠となる図や資料が示されている。
- 単元の終わりに、「わたしの○○せん言(宣言)」として、学んだことを基にして、自分の生活改善等の考えを記述し、伝え合う活動が設定されている。

4 他領域・他教科等との関連や発展的な学習の取扱いに関すること

- 「体のよりよい発育」の欄外には、既習事項である「生活のリズム」との関連についての説明が記載されている。
- 「不安やなやみへの対処①」では、「やってみよう」としてペアやグループで行う運動が示され、「もっとくわしく！」として「腹式呼吸」の実習が取り上げられている。
- 「発展」、「もっと知りたい!」、「もっとくわしく!」では、学習内容に関わって、より詳しい資料や発展的な内容が記載されている。
- がんについては、「生活のしかたと病気①」や「喫煙の害」等の学習活動の中の資料として取り上げられている。
- 性の多様性に関わり、「不安やなやみへの対処②」の「発展」として、性の不一致に悩みについて取り上げ、不安やなやみには個人差があり、相談されたときは、相手の気持ちになって寄り添うことが大切だという内容の説明がされている。

5 健康への関心や課題の解決につながる資料に関すること

- 「話し合ってみよう、考えてみよう」では、学習内容に関する写真や図・表等の資料が示されている。
- 学習したことを生かして取り組む学習活動には、そのことがわかる印が記されている。
- 健康問題やけが・事故の要因と結果の関係について、図や絵を用いた資料が掲載されている。
- 学習内容に関する追加の情報が「つぶやきくん」として示されている。
- 「情報コーナー」では、学習内容に関する追加の情報が図を用いて示されている。
- 各ページの欄外に、学習内容に関する追加の説明等が示されている。
- 学習内容と関連させて、市民ランナーやオリンピック選手からのメッセージが記載されている。

1 概括的な調査研究

- (1) 教科用図書名・サイズ 「小学ほけん 3・4年」 A4判 41ページ
 「小学保健 5・6年」 A4判 65ページ

(2) 単元の構成

学年	学習指導要領の内容		題材数	ページ数	写真(枚)	表グラフ(個)	対話的な学習	学びの活用	発展学習
3・4年	健康な生活	ア 健康な生活	1	4	0	0	0	1	0
		イ 1日の生活の仕方	2	6.5	9	1	2	2	1
		ウ 身の回りの環境	1	3.5	7	0	2	1	1
	体の発育・発達	ア 体の発育・発達	1	4	5	15	2	1	2
		イ 思春期の体の変化	2	6	8	4	0	2	2
		ウ 体をよりよく発育・発達させるための生活	1	6	8	2	1	1	4
5・6年	心の健康	ア 心の発達	1	5.5	9	0	1	1	0
		イ 心と体との密接な関係	1	2.5	0	0	0	1	1
		ウ 不安や悩みへの対処	1	4	1	3	1	1	3
	けがの防止	ア 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがとその防止	4	13	28	8	6	5	4
		イ けがの手当	1	3	4	2	0	1	3
	病気の予防	ア 病気の起こり方	1	3	0	0	1	1	0
		イ 病原体が主な要因となって起こる病気の予防	1	5	12	2	1	1	2
		ウ 生活行動が主な要因となって起こる病気の予防	2	6	5	5	2	2	2
		エ 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康	3	8	24	4	2	3	5
		オ 地域の様々な保健活動の取組	1	2	9	0	0	1	0

※ページ数は、中表紙や単元全体の振り返りのページを除いている。

※「対話的な学習」は、「話し合おう」の箇所数。

※「学びの活用」は、「学んだことを生かそう伝えよう」の箇所数。

※「発展学習」は、「発展」の項目数。

(3) デジタル教材へのアクセス

○QRコードが、関連する学習内容ごとに掲載されており、学習内容に関わる動画を視聴することができるようになっている。

○教科書の巻頭には、学習内容に関するウェブサイトをもとめてみる URL が記載されている。

(4) ユニバーサルデザインに関する配慮について

○書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。

2 課題をつかむ導入や課題の配列に関すること

- 各単元の始めに、4コマ漫画が設定されており、4コマ目に問いを投げかけ、これから始まる学習内容を示している。
- 各題材の始めに「学習課題」として、「～でしょうか」という表現で学習課題が記載されている。
- 各時間の導入として「はじめに」の活動が設定され、身の回りや普段の生活を振り返るなどして、健康の課題を確認するようになっている。
- 各時間の学習が、「はじめに」から「学んだことを生かそう伝えよう」までで構成され、題材によって「調べよう」「考えよう」「話し合おう」「やってみよう」が設定されている。
- 各単元の終わりに学習したことを確認し、学習を振り返る活動として「学習のまとめ」が設定されている。
- 「けがの手当」では、すり傷、切り傷、鼻血、やけど、打ぼく、ねんざ、つき指の手当が図示され、実習する内容が「やってみよう」として設定されている。

3 身近な生活に関わる課題と生活経験等に基づいた言語活動の取扱いに関すること

- 学習内容に応じて、言語活動を行う「話し合おう」が設定されている。
- 「学んだことを生かそう伝えよう」では、学んだことを生活に生かすことについて考えたり、友達に伝えたりする言語活動が設定されている。
- 言語活動の手がかりや根拠となる図や資料が示されている。
- 「よりよいコミュニケーション」では、考えをどのように表現し、相手とどのように接するとよりよいコミュニケーションが築けるか、例を参考にして考える学習活動が設定されている。

4 他領域・他教科等との関連や発展的な学習の取扱いに関すること

- 保健の学習内容と関連する運動領域や他教科の学習内容について「保健体育 中学校」や「理科 5年」等の表記で示している。
- 「不安や悩みへの対処」では、「やってみよう」として「腹式呼吸」と「胸式呼吸」の実習が取り上げられている。
- 「さらに広げよう深めよう」や「発展」では、学習内容に関わって、より詳しい資料や発展的な内容が記載されている。
- がんについては、「発展」として取り上げ、がん予防やがん検診について記載されている。
- 性の多様性に関わり、「発展」の「性のなやみ」として取り上げ、『体の性と心の性がちがう気がする』とを感じる人や、『異性に関心がもてない』とを感じる人などがいるかもしれません』と記載されており、自分の性のことで悩んでいたら、信頼している大人や、電話相談窓口「よりそいホットライン」に相談することができるという内容になっている。

5 健康への関心や課題の解決につながる資料に関すること

- 「調べよう、考えよう、話し合おう」では、写真や図・表等の資料が示されている。
- 「解説」では、学習内容に関する専門的な用語について解説されている。
- 巻頭に、どうして保健の学習をするのかについて、6コマの漫画で説明がされている。
- 「科学のとびら」として、学習内容に関わる科学的な資料が、写真や図を用いて取り上げられている。
- 「まめちしき」として学習内容に関する追加の解説が示されている。
- 「この人に聞く」として、学習内容に関わる専門家からの話が取り上げられている。
- 巻頭に、オリンピック・パラリンピック選手の運動との関わり方や健康に関する考え方について、写真とともに記載されている。

1 概括的な調査研究

- (1) 教科用図書名・サイズ 「みんなのほけん 3・4年」 A4判 37ページ
 「みんなの保健 5・6年」 A4判 57ページ

(2) 単元の構成

学年	学習指導要領の内容		題材数	ページ数	写真(枚)	表グラフ(個)	対話的な学習	学びの活用	発展学習
3・4年	健康な生活	ア 健康な生活	1	3	0	1	2	1	1
		イ 1日の生活の仕方	2	5.5	13	2	2	2	0
		ウ 身の回りの環境	1	3.5	5	0	1	1	1
	体の発育・発達	ア 体の発育・発達	1	4	1	7	1	1	1
		イ 思春期の体の変化	2	6	5	0	0	2	1
		ウ 体をよりよく発育・発達させるための生活	1	4	6	1	1	1	1
5・6年	心の健康	ア 心の発達	1	4	2	1	3	1	1
		イ 心と体との密接な関係	1	2	0	0	1	1	1
		ウ 不安や悩みへの対処	1	6	1	1	2	1	0
	けがの防止	ア 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがとその防止	3	10	37	3	3	3	3
		イ けがの手当	1	2	1	0	1	1	2
	病気の予防	ア 病気の起こり方	1	3	5	0	1	1	0
		イ 病原体が主な要因となって起こる病気の予防	1	3	8	0	0	1	1
		ウ 生活行動が主な要因となって起こる病気の予防	2	6	7	3	0	2	3
		エ 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康	3	8	18	1	3	3	2
		オ 地域の様々な保健活動の取組	1	3	17	0	0	1	0

※ページ数は、中表紙や単元全体の振り返りのページを除いている。

※「対話的な学習」は、「話し合う」、「教え合う・学び合う活動」の箇所数。

※「学びの活用」は、「まとめる・深める」の箇所数。

※「発展学習」は、「はってん(発展)」の項目数。

(3) デジタル教材へのアクセス

○QRコードが、巻頭の「教科書に出てくるマークの説明」に掲載されており、「教科書サイト」にアクセスできるようになっている。

○「教科書サイト」には、動画や画像等のデジタル教材、学習内容に関するウェブサイトが掲載されている。

(4) ユニバーサルデザインに関する配慮について

○書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。

2 課題をつかむ導入や課題の配列に関すること

- 各単元の始めに、何を、どのように学ぶかについて説明されている。
- 各題材の始めに、「～でしょうか」という表現で学習する内容が記載されている。
- 各時間の導入として「つかむ」の活動が設定され、身の回りや普段の生活を振り返るなどして、健康の課題を確認するようになっている。
- 各時間の学習が「つかむ」、「考える、調べる」、本文で大切なことの確認、「まとめる、深める」の学習過程になっている。
- 各単元の終わりに、知識及び技能の定着や学び方を振り返り、学んだことを生かして今後の生活の仕方を考える活動として「ふり返る・深める・つなげる」が設定されている。
- 「けがの手当」では、すり傷、切り傷、鼻血、やけど、ねんざ、打ぼく、つき指の手当を図示し、3～4人で実習する内容が「技能」として設定されている。

3 身近な生活に関わる課題と生活経験等に基づいた言語活動の取扱いに関すること

- 学習内容に応じて、「考える・調べる」の学習過程で言語活動を行う「話し合う」が設定されている。
- 学習内容に応じて、身近な健康課題について自分自身の経験や学習したことを基に、相談したり、発表したりする活動として「教え合う、学び合う活動」が設定されている。
- 言語活動の手がかりや根拠となる図や資料が示されている。
- 各単元の終わりの「学習をふり返る」では、言語活動に関わる「進んで考えたり、調べたり、発表したり、友達の発表をきいたりしましたか」の項目が設定されている。

4 他領域・他教科等との関連や発展的な学習の取扱いに関すること

- 「関連」で、保健の学習内容と関連する運動領域や他教科の学習内容について示されている。
- 「不安や悩みへの対処」では、技能として「体ほぐしの運動」と「腹式呼吸法」の実習が取り上げられている。
- 「はってん（発展）」、「もっと知りたい・調べたい」では、学習内容に関わって、より詳しい資料や発展的な内容が記載されている。
- がんについては、「発展」として取り上げ、Q&Aの形式でがんの原因や予防の方法について記載されている。
- 性の多様性に関わり、「体の中で起こる変化」では、「異性への関心が高まり、異性のことが気になったり、仲よくしたいという気持ちが強くなったりする人もいます」と記載され、誰にでも起こる変化ではなく個人差があるという表現になっている。

5 健康への関心や課題の解決につながる資料に関すること

- 「考える、調べる」では、写真や図・表等の資料が示されている。
- 「かがくの目」として、学習内容に関する科学的な資料が、写真や図を用いて取り上げられている。
- 「ことば」として、保健の学習で必要となる用語の解説が示されている。
- 友達と一緒に学ぶ学習活動には「友達と」の印が、教え合い学び合う活動には知識や考えの「共有」を表す印が、それぞれ記されている。
- 実際に試して確かめる学習活動には、「じっけん（3・4年）」、「実習（5・6年）」を表す印が記されている。
- 5・6年生で、方法を知ったり、身に付けたりするための学習活動には「技能」を表す印が記されている。
- 運動やスポーツとの様々な関わり方について写真を用いて紹介されている。

令和2年度使用
小学校用教科用図書
採択参考資料

英 語

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号
2 東書	英語 501・502・601
9 開隆堂	英語 503・603
11 学図	英語 504・604
15 三省堂	英語 505・605
17 教出	英語 506・606
38 光村	英語 507・607
61 啓林館	英語 508・608

英 語

I 教科用図書の調査研究に当たって

1 調査対象教科用図書

2 東書 9 開隆堂 11 学図 15 三省堂 17 教出 38 光村
61 啓林館

2 調査研究の観点

- (1) 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成することができる内容であるか。
- (2) 内容の程度や学年間の関連が心身の発達に応じて配慮され、児童の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。
- (3) 「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の4技能の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。
- (4) 文字や記号等の表記が適切であり、資料が学習内容の理解に役立ち、学習意欲を喚起するよう配慮されているか。

3 調査研究に対する基本的な考え方

- (1) 偏りのない公正な立場で調査研究を行っている。
- (2) 調査研究の資料を通して、教科用図書の特徴が明らかになるよう配慮している。
- (3) 記述に当たっては、教科用図書の内容を具体的に取り上げるようにし、調査員の主観に陥らないようにしている。
- (4) 採択の関係者が、見やすく分かりやすいよう配慮している。

II 採択参考資料の見方について

1 各教科用図書の発行者の記載順序は、発行者の番号順としている。

2 各教科用図書の調査票は、記載順序に従って配列してある。

3 調査票の調査研究項目は、調査研究の観点についてまとめている。

- (1) 概括的な調査研究…………… 観点 (1) (4)
 - ① 領域別のページ構成
 - ② 言語の使用場面、働き等に関するページ数の構成
- (2) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること…………… 観点 (1)
- (3) 思考力、判断力、表現力等の育成に関すること…………… 観点 (1) (2) (3)
- (4) 児童の実態や、教科等横断的な内容に関すること…………… 観点 (2) (3)
- (5) 全体的な表記・表現の工夫に関すること…………… 観点 (1) (2) (4)

1 概括的な調査研究

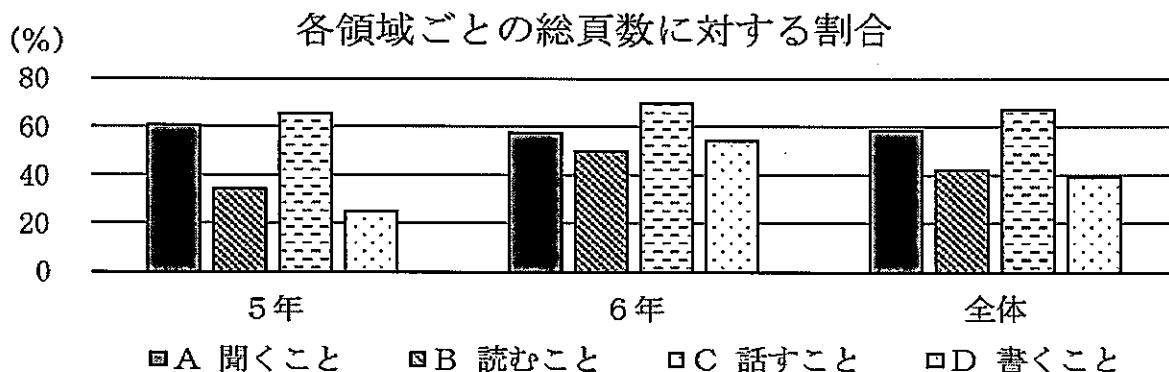
(1) 領域別のページ構成

		領域別の構成				総頁数	資料・付録	
		A 聞くこと	B 読むこと	C 話すこと	D 書くこと		頁数	内容
5年 (A判)	頁	58	33	63	24	96	9	「絵カード」「コミュニケーションカード」「アルファベットの書き方」
	割合	60%	34%	66%	25%			
6年 (A判)	頁	55	48	67	52	96	9	「絵カード」「コミュニケーションカード」「アルファベットの書き方」
	割合	57%	50%	70%	54%			
合計	頁	113	81	130	76	192	18	
	割合	59%	42%	68%	40%			

※別冊「Picture Dictionary」…頁数：49、内容：「Word List」「ローマ字表」「表現リスト」「CAN-DO リスト」

※割合は、総頁数に対する各領域別の頁数の割合を示している。

※同じ頁に複数の領域の内容が重複する場合もある。



(2) 言語の使用場面、働き等に関するページ数の構成

	「言語の使用場面」の種類の数	「言語の働き」の種類の数	伝統文化を題材に取り上げているページ数	文字について独立して取り上げているページ数
5年	9	18	13	9
6年	4	12	11	11
全体	13	30	24	20

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 各学年とも、「Let's Try」「Let's Listen」が、ゴールの言語活動である「Enjoy Communication」に向けて設定されている。
- 各単元で身に付けさせたい表現のリズムやイントネーションに、自然に慣れ親しむことができる「Let's Chant」が各単元に設定されている。
- 繰り返し文字と音の関係に気付かせる活動「Sounds and Letters」が、各時間に設定されている。
- 第3, 4学年の外国語活動との円滑な接続のために、文部科学省が作成した第3, 4学年の外国語活動教材「Let's Try!」で学習した言語材料が、同じ言語の使用場面、言語の働きで取り上げられている。

3 思考力、判断力、表現力等の育成に関すること

- 各単元において見開きページごとに、「Small Talk」が設定され、教師と児童、児童同士でのやり取りをする場面が設定されている。
- 各単元に「Starting Out」「Your Turn」「Enjoy Communication」という3つの活動が設定され、音声に慣れ親しみながら、言語活動を行う構成になっている。
- 実際の使用場面を想定した言語活動ができるように、「Enjoy Communication」では、学習指導要領に例記されている、「児童の身近な暮らしに関わる場面」「特有の表現がよく使われる場面」での言語使用場面が設定されている。
- 「Let's Read and Write」では、音声で十分に慣れ親しんだ表現について、読んだり書いたりする活動が設定されている。
- 各学期に「Check Your Steps」として、学習した内容を振り返り、言語材料を活用した言語活動が設定されている。
- 各単元で設定されている「Enjoy Communication」では、「Tips (秘訣)」として、コミュニケーションを充実させるための手立てが示されている。

4 児童の実態や、教科等横断的な内容に関すること

- 第5学年では、図画工作、国語、音楽、算数、総合的な学習等の学習内容、第6学年では国語、理科、社会、家庭科、道徳等の学習内容とそれぞれ関連のある単元が設定されている。
- 第5学年は「日本」を、第6学年は「世界」をテーマに学習内容が設定されており、使う表現や話題が系統的に構成されている。

5 全体的な表記・表現の工夫に関すること

- 別冊「Picture Dictionary」には、小学校で取り扱う語句(600~700語程度)や表現がまとめられており、教科書のページの下にある「Word Link」につながっている。
- 各単元で、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関わる活動のアイコンが示されている。
- 各単元で「Our Goal」として、目標が示されている。
- 「Over the Horizon」では、「ことば探検」が設定されており、単語の成り立ち、日本語と英語の語順の違い、品詞等が扱われている。
- 「Let's Try」「Let's Listen」の練習で活用できる「巻末絵カード」と、「Enjoy Communication」で使用する「巻末コミュニケーションカード」が付いている。
- 各学年とも「学び方みつけた!」で、教室英語、アルファベット、英文の書き方、英文の作り等に触れる内容が扱われている。
- 自主的な学習ができるように、映像や音声につながるQRコードが掲載されている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り込められている。
- 文字を書いたり、英文を書き写したりする際の4線は、第2線と第3線の間が広く設定されている。
- 学習の流れが一定になるように、活動や学習要素が紙面上の定位置に配置されている。

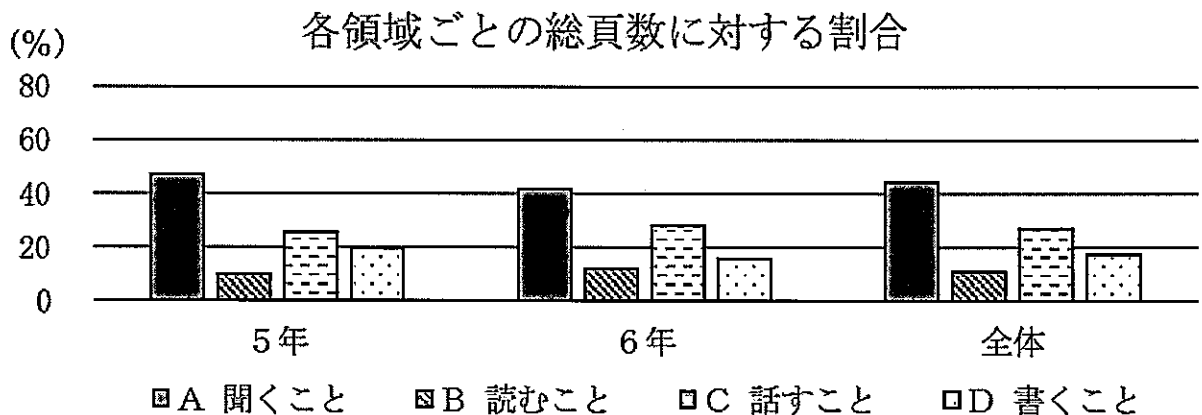
1 概括的な調査研究

(1) 領域別のページ構成

		領域別の構成				総頁数	頁数	資料・付録
		A 聞くこと	B 読むこと	C 話すこと	D 書くこと			内容
5年 (A B判)	頁	56	12	30	23	119	19	「絵カード」「ローマ字表」 「アルファベット表」
	割合	47%	10%	25%	19%			
6年 (A B判)	頁	53	15	36	20	127	19	「絵カード」「ローマ字表」 「アルファベット表」
	割合	42%	12%	28%	16%			
合計	頁	109	27	66	43	246	38	
	割合	44%	11%	27%	17%			

※割合は、総頁数に対する各領域別の頁数の割合を示している。

※同じ頁に複数の領域の内容が重複する場合もある。



(2) 言語の使用場面、働き等に関するページ数の構成

	「言語の使用場面」の種類の数	「言語の働き」の種類の数	伝統文化を題材に取り上げているページ数	文字について独立して取り上げているページ数
5年	7	12	16	11
6年	5	13	18	12
全 体	12	25	34	23

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 単元の目標となる表現を聞く活動である「Let's Listen」が、ゴールの活動である「Let's Try」に向けて設定されている。
- 新しい語句や表現は「Let's Listen」や「Let's Play」等、インプットを中心とした活動で繰り返し慣れ親しむように設定されている。
- 各単元で身に付けさせたい表現のリズムやイントネーションに、自然に慣れ親しむことができる「Let's Chant」が各単元に設定されている。
- 各単元で必ず1単位時間は「読む・書く」活動ができる構成になっており、文字と音の関係や単語や文を書くときに気を付けるポイントが学習段階に合わせて掲載されている。

3 思考力、判断力、表現力等の育成に関すること

- やり取りをする場面では、モデルとなる会話が吹き出しで示されている。また、表現力を養う手立てとして、会話文の下線部を、別の表現に入れ替えられるようになっている。
- 単元を通して身に付けてきた知識・技能を実際に活用できるように、単元の最後には、自己表現活動である「Let's Try」が設定されている。
- 児童同士が教え合いや学び合いができるように、各単元にペアやグループでの学習活動が設定されている。
- 「Let's Read and Write」では、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現について、読んだり書いたりする活動が設定されている。
- 各単元の終わりに「振り返りをしよう」が設定されており、単元での学習をまとめ、自己評価を行うことができるようになっている。
- 発展的な学習ができるように、第5学年では3か所、第6学年では2か所に「チャレンジ」が設定され、第6学年の巻末には「中学校へつなげよう」が設定されている。

4 児童の実態や、教科等横断的な内容に関すること

- 第5学年では国語、社会、算数、図工、家庭科等の学習内容、第6学年では社会、理科、図工、家庭科等の学習内容とそれぞれ関連のある単元が設定されている。
- 第5学年の「英語で広がる世界」で日本を中心とした内容が、第6学年の「世界の中の自分」で伝統や文化への理解を深める内容が、それぞれ設定されている。

5 全体的な表記・表現の工夫に関すること

- 学習した語句を確認できるように、付録として単語リストが掲載されている。
- 各単元で、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関わる活動のアイコンが示されている。
- 各学年の巻頭に「CAN-DO マップ」があり、各単元の目標、ゴールとなる言語活動が示されている。
- 様々な活動に対応する4技能を確認するために、巻末に学習内容のリストが示されている。
- 各学年とも「Let's Play」で活用できる巻末絵カードが付いている。
- 3種類のキャラクターにより、学習の進め方、英語を書くときのポイント、いろいろな国や地域の様子が紹介されている。
- 自主的な学習ができるように、映像や音声につながるQRコードが掲載されている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。
- 文字を書いたり、英文を書き写したりする際の4線は、第2線と第3線の間が広く設定されている。
- 1ページ当たり1時間の授業に相当する構成になっている。また、活動を細分化したモジュールでの学習にも対応できる構成になっている。

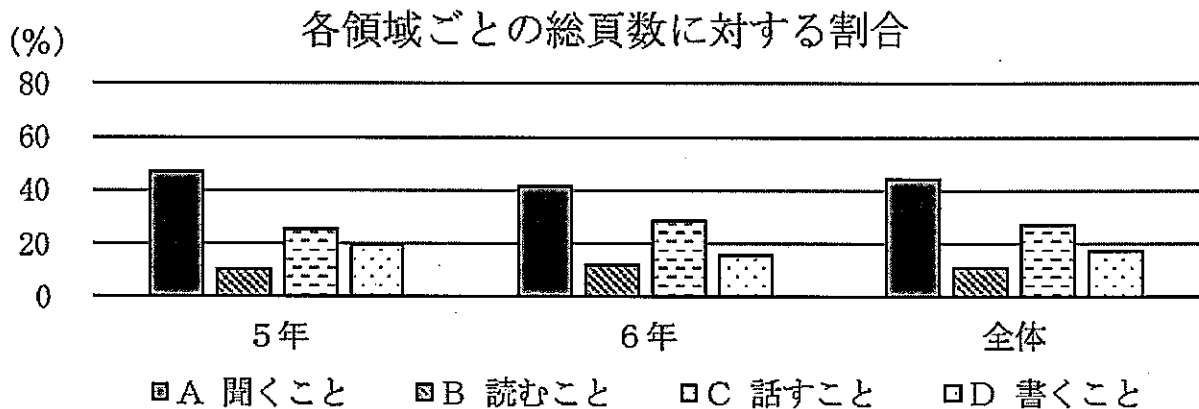
概括的な調査研究

(1) 領域別のページ構成

		領域別の構成				総頁数	資料・付録	
		A 聞くこと	B 読むこと	C 話すこと	D 書くこと		頁数	内容
5年 (A判)	頁	89	40	46	33	155	3	「ローマ字表」「世界の友達」
	割合	57%	26%	30%	21%			
6年 (A判)	頁	82	44	39	37	151	3	「ローマ字表」「英語で発表ができるようになったよ!」
	割合	54%	30%	26%	26%			
合計	頁	171	84	85	70	306	6	
	割合	56%	27%	28%	23%			

※割合は、総頁数に対する各領域別の頁数の割合を示している。

※同じ頁に複数の領域の内容が重複する場合もある。



(2) 言語の使用場面、働き等に関わるページ数の構成

	「言語の使用場面」の種類の数	「言語の働き」の種類の数	伝統文化を題材に取り上げているページ数	文字について独立して取り上げているページ数
5年	7	7	9	14
6年	6	5	6	13
全体	13	12	15	27

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 各単元では、聞く→聞いたことを繰り返して言う→話す→読む→書くという流れで活動が設定されている。
- 各単元で身に付けさせたい表現のリズムやイントネーションに、自然に慣れ親しむことができる「Let's Chant」が各単元に設定されている。
- 繰り返し文字と音の関係に気付かせる活動「Sounds and Letters」が、各時間に設定されている。
- 前学年で学習した表現が復習できるように、各学年とも、巻頭に「Pre-lesson」が設定されている。

3 思考力、判断力、表現力等の育成に関すること

- 各単元において、見開きページごとに「Small Talk」が設定され、教師と児童、児童同士でのやり取りをする場面が設定されている。
- 各単元は、絵を見ながら聞く活動「Scene」から始まり、A、B、Cの3つのセクションで学習し、繰り返し音声に慣れ親しみながら、言語活動「Use & Check」を行う構成になっている。
- 「Use & Check」では、単元を通して、聞いたり、話したり、読んだり、書いたりしたことを別の場面で使う活動が設定されている。
- 第6学年の読むことに関わる活動では、音声を聞きながら、英文を指で追う活動が設定されている。また、書くことに関わる活動では音声を聞いてから、英文をなぞり、書き写す活動が設定されている。
- 各単元の終わりに、単元の目標を振り返ることができる「Check Time」が設定されている。
- 2か所に「Project Time」として、学習した言語材料を活用した言語活動が設定されている。

4 児童の実態や地域の実情、教科等横断的な内容に関すること

- 第5学年では、家庭科、国語、音楽、算数、社会、総合的な学習の時間等の学習内容、第6学年では、国語、理科、体育等の学習内容とそれぞれ関連のある単元が設定されている。
- 各単元のセクションB、Cに、教科等横断的な内容や異文化理解に関わる内容が取り上げられている。

5 全体的な表記・表現の工夫に関すること

- 各学年で、「Word Corner」が設定され、テーマごとに語句が掲載されている。また、英文の書き方、言葉の順序や決まりについても記載されている。
- 各学年の巻末に「Word List」が設定され、カテゴリー別にイラストとともに語句が掲載されている。
- 各単元で、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関わる活動のアイコンが示されている。
- 各単元の始めに、単元の目標及び単元の学習の進め方が示されている。
- 「Project Time」では、発表に活用することができるワークシートが掲載されている。
- 各学年の巻頭では、「クラスルーム・イングリッシュ」「アルファベットの確認」、また、英文の書き方等に触れる内容が扱われている。
- 各単元の終わりに、海外や日本のことを書いた短い読みものである「Column」が設定されている。
- 文字を書いたり、英文を書き写したりする際の4線は、第2線と第3線の間が広く設定されている。
- 自主的な学習ができるように、音声につながるQRコードが掲載されている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点を取り入れられている。

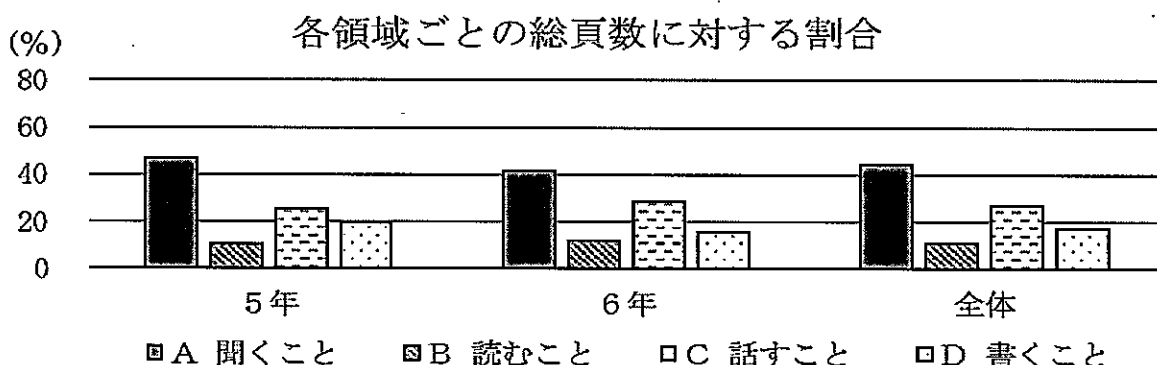
1 概括的な調査研究

(1) 領域別のページ構成

		領域別の構成				総頁数	資料・付録	
		A 聞くこと	B 読むこと	C 話すこと	D 書くこと		頁数	内容
5年 (A B判)	頁	66	8	51	9	128	12	「ローマ字表」「アルファベット表」「アルファベットカード」「時差時計」
	割合	52%	6%	40%	7%			
6年 (A B判)	頁	69	9	52	14	128	8	「アルファベット表」「ローマ字表」「コミュニケーションカード」「お助け表現集」
	割合	54%	7%	41%	11%			
合計	頁	135	17	103	23	256	20	
	割合	53%	7%	40%	9%			

※割合は、総頁数に対する各領域別の頁数の割合を示している。

※同じ頁に複数の領域の内容が重複する場合もある。



(2) 言語の使用場面、働き等に関わるページ数の構成

	「言語の使用場面」の種類の数	「言語の働き」の種類の数	伝統文化を題材に取り上げているページ数	文字について独立して取り上げているページ数
5年	7	16	14	26
6年	9	17	15	24
全体	16	33	29	50

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 各学年とも、学びの見通しを立てる「HOP」→基礎的・基本的な知識及び技能を習得する「STEP」→実際の場面で表現する「JUMP」の流れで、3つの大単元が構成されている。
- 各学年の「STEP」には、単元で身に付けさせたい語句や表現を繰り返し聞く活動が多く設定されている。
- 単元で身に付けさせたい語句や表現に、自然に慣れ親しむことができる「Sound Chant」「Word Chant」が「STEP」に設定されている。
- 前学年で学習した語句や表現が復習できるように、各学年とも、巻頭に「英語で言えるかな」「教室で使う英語」が設定されている。

3 思考力、判断力、表現力等に関すること

- 「STEP」の始まりにある「Panorama」には、見開きのイラストが掲載されており、使用場面を想定しながら、「Small Talk」や「絵さがしゲーム」等の活動ができるように設定されている。
- 大単元の最後は「JUMP」として、実際の使用場面を想定した言語活動が設定され、学習した言語材料を活用して活動に取り組む構成になっている。
- 書くことの活動では、音声を聞いて、英文をなぞり、同じページに掲載されている「Word Bank」を使って書き写す活動が設定されている。
- 大単元の終わりに、「HOP」で立てた目標「My Goal」を振り返ることができる「まとめとふりかえり」が設定されている。
- 各学年の巻末に「CAN-DO リスト」が設定され、活動ごとに、4技能と関連付けながら振り返ることができるようになっている。
- 「JUMP」では、「Tips! (秘訣)」として、コミュニケーションを充実させるための手立てが示されている。

4 児童の実態や、教科等横断的な内容に関すること

- 第5学年では、社会科の学習内容、第6学年では、総合的な学習や道徳の学習内容とそれぞれ関連のある単元が設定されている。
- 「世界の時差」「世界のまつり」「世界のことば」「世界の小学校」を題材にしたページがあり、他文化に触れる内容が設定されている。

く

5 全体的な表記・表現の工夫に関すること

- 巻末に「Words & Phrases」が設定され、小学校で取り扱う語句や表現が、カテゴリー別にまとめられている。
- 各単元で、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関わる活動のアイコンが示されている。
- 大単元の始まりである「HOP」では、「My Goal」として単元の目標を設定している。
- 「Panorama」「Spotlight」「Story」では、イラストとともに文字が掲載されており、聞くことや話すことに関わる活動から、読むことや書くことに関わる活動につながるよう設定されている。
- 書くことに関わる活動のページでは、児童が書き写しやすいうように、モデルとなる語句は書く欄の上または左に配置されている。
- 「教室で使う英語」「アルファベット」「会話を続けるくふう」に触れる内容を扱っている。
- 自主的な学習ができるように、映像や音声につながるQRコードが掲載されている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り込められている。
- 文字を書いたり、英文を書き写したりする際の4線は、第2線と第3線の間が広く設定されている。
- 各学年とも、左ページ上段は「Listen & Talk」、下段は語句や表現を練習する活動が設定され、パターン化された紙面構成になっている。

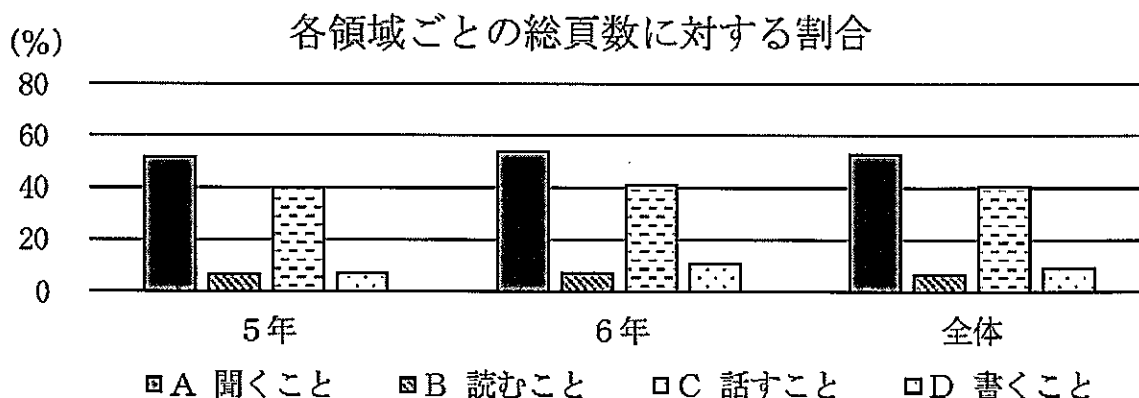
1 概括的な調査研究

(1) 領域別のページ構成

		領域別の構成				総頁数	頁数	資料・付録
		A 聞くこと	B 読むこと	C 話すこと	D 書くこと			内容
5年 (AB判)	頁	55	22	27	20	118	22	「ジングル表」「アルファベット表」「活動用シール」「絵カード」「ワークシート」
	割合	47%	19%	23%	17%			
6年 (AB判)	頁	59	26	25	28	112	30	「ジングル表」「アルファベット表」「ローマ字表」「絵カード」「ワークシート」「マイブック」
	割合	53%	23%	22%	25%			
合計	頁	114	48	52	48	230	52	
	割合	50%	21%	23%	21%			

※割合は、総頁数に対する各領域別の頁数の割合を示している。

※同じ頁に複数の領域の内容が重複する場合もある。



(2) 言語の使用場面、働き等に関わるページ数の構成

	「言語の使用場面」の種類の数	「言語の働き」の種類の数	伝統文化を題材に取り上げているページ数	文字について独立して取り上げているページ数
5年	8	15	14	24
6年	8	12	14	26
全体	16	27	28	50

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 新しい語句や表現は「Let's Listen」や「Activity」で繰り返し慣れ親しむように設定されている。
- 各単元で身に付けさせたい語句や表現のリズムやイントネーションに、自然に慣れ親しむことができる「Let's Say It Together」が、各単元に設定されている。
- 文字と音の関係に気付かせる活動「Sounds and Letters」が、各単元末に設定されている。
- 第3, 4学年の外国語活動との円滑な接続のために、第5学年の「Let's Strat Together」では、アルファベット探しが設定されている。

3 思考力、判断力、表現力等の育成に関すること

- 各学年とも、「Let's Watch」「Let's Listen」「Let's Think」が、ゴールの言語活動である「Final Activity」に向けて設定されている。
- 単元を通して身に付けた知識・技能を活用できるように、単元の最後には、自己表現活動である「Final Activity」が設定されている。
- 児童同士が教え合いや学び合いができるように、各単元にペアやグループでの学習活動が設定されている。
- 第6学年では、音声で十分慣れ親しんだ語句や表現について、読んだり書いたりする「Let's Read and Write」が設定されている。
- 各単元の終わりに、各単元の目標と照らし合わせながら、児童が自己の成長を振り返る「ふりかえりカード」が掲載されている。
- 各単元に「Let's Think」が設定されており、よりコミュニケーションを充実させるための手立て等に関する問いが掲載されている。

4 児童の実態や、教科等横断的な内容に関すること

- 第5学年では、国語、社会、音楽、家庭科、道徳の学習内容、第6学年では、国語、社会、音楽、総合的な学習、道徳の学習内容とそれぞれ関連のある単元が設定されている。
- 世界とのつながりや、国際理解につながる「Let's Look at the World」が設定されている。

5 全体的な表記・表現の工夫に関すること

- 巻末に「My Word Bank」が設定され、小学校で取り扱う語句が、カテゴリ一別にまとめられている。
- 各単元で、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関わる活動のアイコンが示されている。
- 各単元の始めに、目標が設定されている。
- 各単元のページ下に、アルファベットの文字や音を示すイラストが掲載されており、巻頭の「Let's Start Together」や巻末の「Jingle」と合わせて、繰り返し学習できるようになっている。
- 巻末に「Let's Listen」「Let's Read and Write」「Activity」で活用できるシールやワークシートが付いている。
- 各学年とも、巻頭に「Classroom English」や各学年の目標、「コミュニケーションをとるときに、大切にしたいこと」が示されている。
- 自主的な学習ができるように、映像や音声につながるQRコードが掲載されている。
- 文字を書いたり、英文を書き写したりする際の4線は、第2線と第3線の間が広く設定されている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。
- 学習の流れが一定になるように、活動が紙面上の定位置に配置されている。

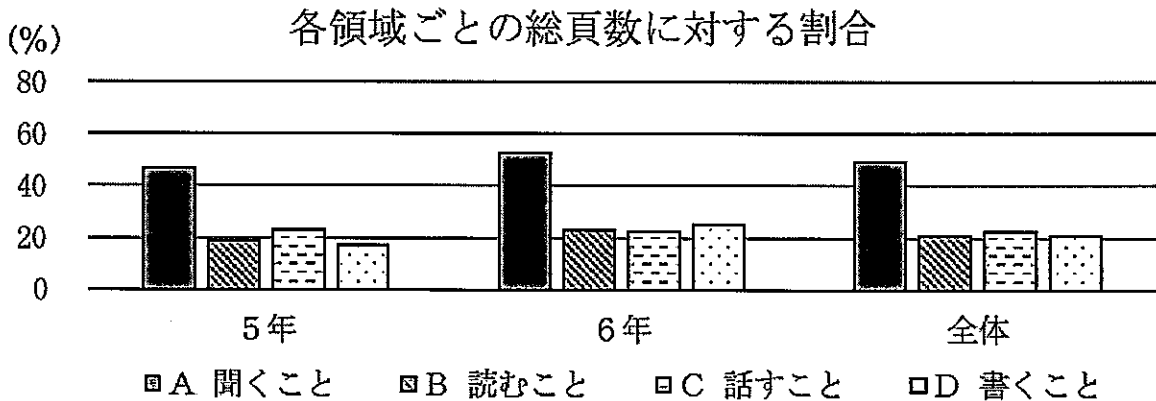
1 概括的な調査研究

(1) 領域別のページ構成

		領域別の構成				総頁数	資料・付録	
		A 聞くこと	B 読むこと	C 話すこと	D 書くこと		頁数	内容
5年 (AB判)	頁	86	42	37	29	140	19	「アルファベットカード」「絵カード」「ペンマンシップシート」「シール」
	割合	61%	30%	26%	21%			
6年 (AB判)	頁	82	54	47	21	144	19	「アルファベットカード」「絵カード」「ペンマンシップシート」「シール」
	割合	57%	38%	33%	15%			
合計	頁	168	96	84	50	284	38	
	割合	59%	34%	30%	18%			

※割合は、総頁数に対する各領域別の頁数の割合を示している。

※同じ頁に複数の領域の内容が重複する場合もある。



(2) 言語の使用場面、働き等に関するページ数の構成

	「言語の使用場面」の種類の数	「言語の働き」の種類の数	伝統文化を題材に取り上げているページ数	文字について独立して取り上げているページ数
5年	7	10	9	8
6年	5	11	15	5
全体	12	21	24	13

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 各単元の「Let's listen.」では、語句や表現を聞き取る活動、必要な情報を聞き取る活動、短い話の概要を聞き取る活動が系統的に設定されている。
- 各単元で身に付けさせたい語句や表現のリズムやイントネーションに、自然に慣れ親しむことができる「Let's Chant」が各単元に設定されている。
- 「Sounds and Letters」で文字と音の関係に気付かせる活動が設定されている。
- 音声に合わせて文字をなぞり、読むことに慣れ親しむ活動として、「Let's listen and read.」が設定されている。

3 思考力、判断力、表現力等に関すること

- 各単元に「Let's Try.」「You can do it!」が設定され、友達と伝え合う言語活動（やり取り）、自分や他者を紹介する言語活動（発表）を系統的に行う構成になっている。
- 「Step1」「Step2」では、単元で身に付けさせたい語句や表現について、聞くこと、慣れ親しむこと等の活動を行った上で、言語活動を行うように構成されている。
- 各学年の巻末に、学習した内容を使って、聞いたり、話したり、読んだり、書いたりする活動を設定した「Let's play sugoroku.」が掲載されている。
- 段階的に文字に慣れ親しむために、「Alphabet Time」「Fun Time」が設定されている。
- 単元の終わりに、各単元の目標と照らし合わせながら、児童が自己の成長を振り返る「ふりかえろう」が掲載されている。
- 「You can do it!」に、場面に応じた「話すときに気をつけよう」「聞くときに気をつけよう」「書くときに気をつけよう」が示されている。

4 児童の実態や、教科等横断的な内容に関すること

- 第5学年では、社会、図画工作、家庭科の学習内容、第6学年では、社会、体育、図画工作の学習内容とそれぞれ関連のある単元が設定されている。
- 各学年とも、世界各国の小学生たちの生活や文化について知る「世界の友達」が掲載されている。

5 全体的な表記・表現の工夫に関すること

- 巻末に「絵辞典」が設定され、小学校で取り扱う語句や表現が、カテゴリー別にイラストとともにまとめられている。
- 各単元で、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関わる活動のアイコンが示されている。
- 各単元の「Goal」を示した「もくじ」と、その学年で「できるようになること」(CAN-DO)が、巻頭に掲載されている。
- 各単元の言語活動の中で使えるシールや、各単元の「ふりかえろう」で使える「CAN-DOシール」が付いている。
- 巻末に、各学年の単元ごとに学習した語句や表現がまとめられている。
- 各学年の巻頭で、前学年の学習内容、コミュニケーションをする上での「たいせつ」、アルファベット、教室英語等に触れる内容が扱われている。
- 自主的な学習ができるように、映像や音声につながるQRコードが掲載されている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点を取り入れられている。
- アルファベットや、単語のなぞり書き、文の書き写しの練習ができる「ペンマンシップ・ノート」が付いている。
- 各単元のレイアウトが統一されており、同じ種類の情報を決まった位置に配置している。

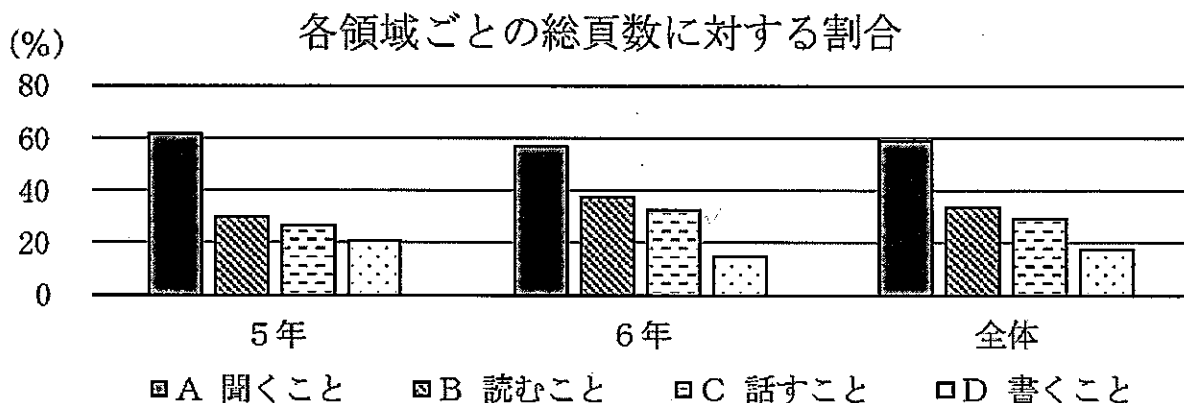
1 概括的な調査研究

(1) 領域別のページ構成

		領域別の構成				総頁数	資料・付録	
		A 聞くこと	B 読むこと	C 話すこと	D 書くこと		頁数	内容
5年 (AB判)	頁	50	12	69	15	120	16	「絵カード」「アルファベットカード」
	割合	42%	10%	58%	13%			
6年 (AB判)	頁	76	28	41	32	120	16	「絵カード」「アルファベットカード」
	割合	63%	23%	34%	27%			
合計	頁	126	40	110	47	240	32	
	割合	53%	17%	46%	20%			

※割合は、総頁数に対する各領域別の頁数の割合を示している。

※同じ頁に複数の領域の内容が重複する場合もある。



(2) 言語の使用場面、働き等に関わるページ数の構成

	「言語の使用場面」の種類の数	「言語の働き」の種類の数	伝統文化を題材に取り上げているページ数	文字について独立して取り上げているページ数
5年	8	14	11	10
6年	6	8	14	29
全体	14	22	25	39

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 「Listen and Guess」「Listen and Play」「Listen and Say」「Listen and Do」等が、ゴールの言語活動である「Activity」に向けて設定されている。
- 単元で身に付けさせたい語句や表現に、自然に慣れ親しむことができる「Jingle」「Chant」が、各単元に設定されている。
- 単元で身に付けさせたい語句や表現を、繰り返し聞く活動が設定され、音声で十分に慣れ親しんだ表現について、話したり、読んだり、書いたりするようになっている。
- 前学年で学習した表現が復習できるように、各学年とも、「Pre Unit」が設定されている。

3 思考力、判断力、表現力等に関すること

- 即興でやり取りする力を養うために、イラストを見ながら短い話をしたり、質問をしたりする活動が設定されている。
- 各単元の最終活動である「Activity」では、学習した言語材料を活用して、やり取りや発表をしたり、自分の伝えたいことを、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を使って、書いたりする活動が設定されている。
- 「Let's Read and Write」では、音声で十分に慣れ親しんだ語句について、読んだり書いたりする活動が設定されている。
- 各学年とも、巻末に「Story」が掲載されており、絵を見ながら単語や文の意味を推測できるようになっている。
- 各学期の終わりに、身に付けてきた語句や表現を活用して取り組む「REVIEW」が設定されている。
- 各学年の巻末に「Can-Do List」が設定され、4技能と関連付けながら、振り返ることができるようになっている。

4 児童の実態や、教科等横断的な内容に関すること

- 第5学年では国語、算数、理科、総合的な学習の時間等の学習内容、第6学年では国語、理科、社会、道徳、総合的な学習の時間等の学習内容とそれぞれ関連がある単元が設定されている。
- 「Did you know?」では、日本と異なる外国の言語的・文化的な内容が取り上げられている。

5 全体的な表記・表現の工夫に関すること

- 巻末に「Word List」が掲載され、小学校で取り扱う語句が、カテゴリ別にイラストとともにまとめられている。
- 各単元で、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関わる活動のアイコンが示されている。
- 単元の目標が、「GOAL」として単元の始めに示されている。また、1時間ごとの目標も示されており、振り返りができるようになっている。
- 「Activity」では、決められたキャラクターにより、活動を充実させるための手立てが示されている。
- 各学年とも、「Jingle」で活用する巻末絵カードが付いている。
- 短時間で取り組むことができ、繰り返し学習できる内容が、「モジュールマーク」で示されている。
- 自主的な学習ができるように、映像や音声につながるQRコードが掲載されている。
- 文字を書いたり、英文を書き写したりする際の4線は、第2線と第3線の幅が広く設定されている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。
- 単元の始まりは、見開きページで構成されている。

令和2年度使用
小学校用教科用図書
採択参考資料

道 徳

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号
2 東書	道徳 101・201・301・401・501・601
11 学図	道徳 102・103・202・203・302・303 ・402・403・502・503・602・603
17 教出	道徳 104・204・304・404・504・604
38 光村	道徳 105・205・305・405・505・605
116 日文	道徳 106・107・206・207・306・307 ・406・407・506・507・606・607
208 光文	道徳 108・208・308・408・508・608
224 学研	道徳 109・209・309・409・509・609
232 廣あかつき	道徳 110・111・210・211・310・311 ・410・411・510・511・610・611

道 徳

I 教科用図書の調査研究に当たって

1 調査対象教科用図書

2 東書 11 学図 17 教出 38 光村 116 日文 208 光文
224 学研 232 廣あかつき

2 調査研究の観点

- (1) 道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることができる内容であるか。
- (2) 心身の発達段階に適応した教材が取り上げられており、児童の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。
- (3) 「A主として自分自身に関すること」「B主として人との関わりに関すること」「C主として集団や社会との関わりに関すること」「D主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の視点に含まれる全ての内容項目の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。
- (4) 表記や表現、写真や挿絵等が適切であり、学習意欲を喚起するよう配慮されているか。

3 調査研究に対する基本的な考え方

- (1) 偏りのない公正な立場で調査研究を行っている。
- (2) 調査研究の資料を通して、教科用図書の特徴が明らかになるよう配慮している。
- (3) 記述に当たっては、教科用図書の内容を具体的に取り上げるようにし、調査員の主観に陥らないようにしている。
- (4) 採択の関係者が、見やすく分かりやすいよう配慮している。

II 採択参考資料の見方について

- 1 各教科用図書の発行者の記載順序は、発行者の番号順としている。
- 2 各教科用図書の調査票は、記載順序に従って配列してある。
- 3 調査票の調査研究項目は、調査研究の観点についてまとめている。

- (1) 概括的な調査研究…………… 観点(3)(4)
 - ① 内容項目別教材数
 - ② 総頁数
 - ③ 教材を複数担当している内容項目（視点別）
- (2) 考えを深める学習に関すること…………… 観点(1)
 - ① 問題解決的な学習について
 - ② 道徳的行為に関する体験的な学習について
 - ③ 言語活動が充実する学習について
 - ④ 情報モラルや現代的課題について
- (3) 児童の生活や経験及び興味や関心に関すること…………… 観点(2)(3)
- (4) その他の特色について…………… 観点(1)～(4)
- (5) 全体的な表記・表現等について…………… 観点(1)(2)(4)

1 概括的な調査研究

(1) 内容項目別教材数

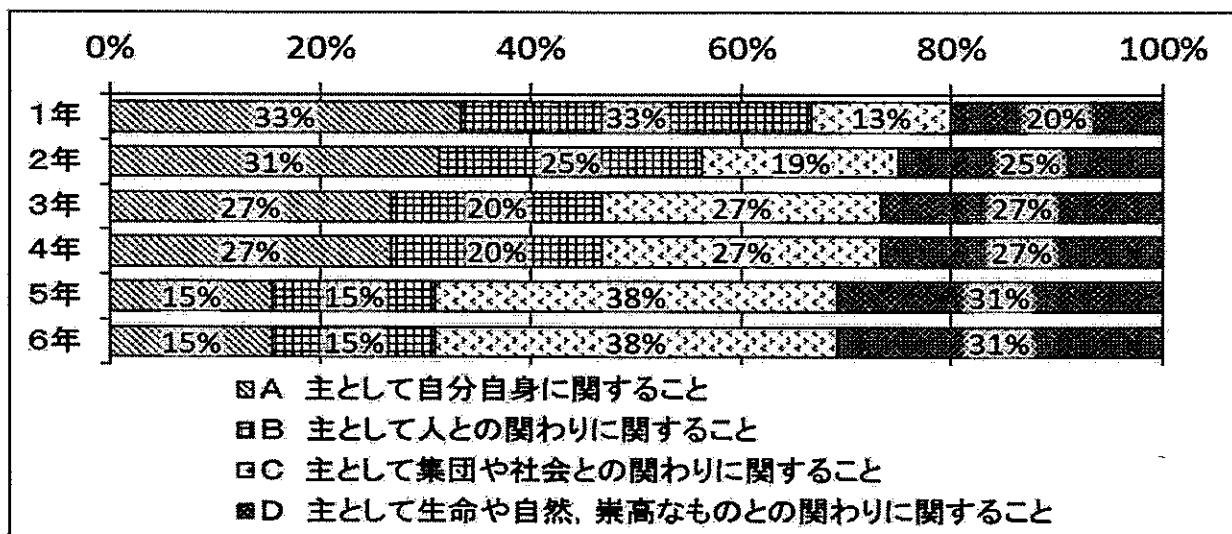
視点	内容項目	教材数					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
A	善悪の判断, 自律, 自由と責任	2	2	2	2	1	1
	正直, 誠実	2	2	2	2	1	1
	節度, 節制	3	3	2	2	2	2
	個性の伸長	1	1	1	1	1	1
	希望と勇気, 努力と強い意志	2	2	2	2	2	2
	真理の探究	—	—	—	—	1	1
B	親切, 思いやり	3	3	3	3	2	2
	感謝	2	1	1	1	1	1
	礼儀	2	2	1	1	1	1
	友情, 信頼	2	2	2	2	2	2
	相互理解, 寛容	—	—	1	1	1	1
C	規則の尊重	2	2	2	2	2	2
	公正, 公平, 社会正義	1	1	1	1	1	1
	勤労, 公共の精神	1	1	2	2	2	2
	家族愛, 家庭生活の充実	1	2	2	2	1	1
	よりよい学校生活, 集団生活の充実	2	2	1	1	2	2
	伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	1	1	2	2	2	2
	国際理解, 国際親善	1	1	1	1	2	2
D	生命の尊さ	3	3	3	3	3	3
	自然愛護	2	2	2	2	2	2
	感動, 畏敬の念	1	2	2	2	2	2
	よりよく生きる喜び	—	—	—	—	1	1

(2) 総頁数

※大きさはA B判

1年	2年	3年	4年	5年	6年
125	143	165	169	181	197

(3) 教材を複数配当している内容項目 (視点別)



※それぞれの内容項目を1時間ずつ実施したとき, 残りの時間をどの内容項目に配当し, 重複させているかを視点別に表したものの。

2 考えを深める学習に関すること

(1) 問題解決的な学習について

- 「身近な生活場面から問題解決的な学習ができるような教材」として、第1学年「みんないっしょ」第2学年「大すきなフルーツポンチ」が取り上げられている。
- 第3学年以上において、「とびらページ」→「考えるポイント」→「考えるステップ」という順番で、「問題を見つけて考える」が設定されている。
- 第1, 2学年においては各教材の始めに、第3学年以上においては各教材の終わりに、内容項目に関わる設問がある。

(2) 道徳的行為に関する体験的な学習について

- 全ての学年において、学習活動ページ「出会う・ふれ合う」が2か所設定されている。
- 全ての学年において、巻末に、付録として「つながる広がる」が設定されている。
- 全ての学年において、「活動型教材」が1か所取り上げられている。
- 全ての学年において、体験活動との関連を図った教材が取り上げられている。

(3) 言語活動を充実する学習について

- 全ての学年において、学習活動ページ「出会う・ふれ合う」が設定されており、自分の考えを記述する活動がある。
- 全ての学年において、話し合い活動が適切に行われるよう、巻頭に、「道徳の学習を進めるために」や「話し合いの約束」が設定されている。
- 全ての学年において、長期休業日前や年度末に記入ができるよう、巻末に、「学習のまとめ」が設定されている。

(4) 情報モラルや現代的な課題について

- 情報モラルに関わる教材として、第1学年「いたづらがき」第2学年「たんじょう日カード」第3学年「ひみつの手紙」第4学年「やめられない?とまらない?」第5学年「その遊び方、だいじょうぶ?」第6学年「あなたはどうか考える?」が取り上げられている。
- 全ての学年において、「いじめをしない、許さない心を育てる教材」が2つ取り上げられている。
- 全ての学年において、「安全・防災教育」「オリンピック・パラリンピック教育」「キャリア教育」等、現代的な課題に関わる教材が複数取り上げられている。

3 児童の生活や経験及び興味や関心に関すること

- 全ての学年において、インターネットを使った学習ができる教材が4つ取り上げられており、該当する教材の始めに「Dマーク」が示されている。
- 全ての学年において、他教科等の学習や普段の生活につなげられるよう、巻末に、付録として「つながる広がる」が設定されている。さらに、第3学年以上においては、本編内に「つながる広がる」が3か所設定されている。

4 その他の特色について

- 全ての学年において、視点別、内容項目別の目次があり、「これから1年間で学ぶこと」が示されている。
- 第1学年において、スタートカリキュラムに対応した教材が取り上げられている。
- 学習案内役のキャラクター「こころん」とともに学習に取り組めるようになっている。

5 全体的な表記・表現等について

- 全ての学年において、当該学年の前までの配当漢字を使用しており、第1学年においては、片仮名にルビが付けられている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 内容項目別教材数

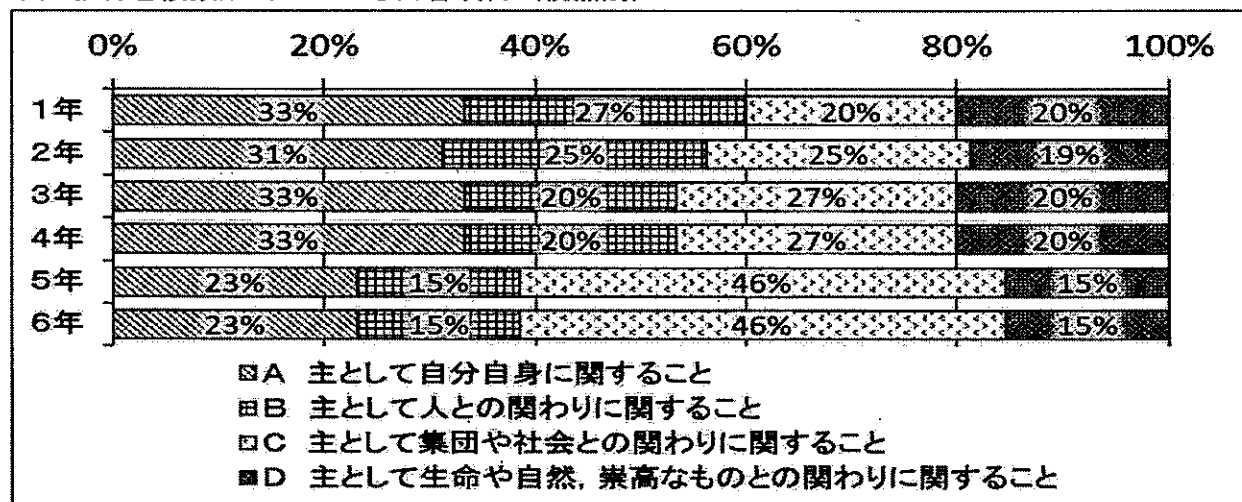
視点	内容項目	教材数					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
A	善悪の判断, 自律, 自由と責任	2	2	2	2	2	2
	正直, 誠実	2	2	2	2	1	1
	節度, 節制	2	2	2	2	2	2
	個性の伸長	2	2	2	2	1	1
	希望と勇気, 努力と強い意志	2	2	2	2	2	2
	真理の探究	—	—	—	—	1	1
B	親切, 思いやり	2	2	2	2	2	2
	感謝	2	2	1	1	1	1
	礼儀	2	2	1	1	1	1
	友情, 信頼	2	2	2	2	1	1
	相互理解, 寛容	—	—	2	2	2	2
C	規則の尊重	2	2	2	2	2	2
	公正, 公平, 社会正義	2	2	2	2	2	2
	勤労, 公共の精神	1	1	1	1	2	2
	家族愛, 家庭生活の充実	1	2	2	2	1	1
	よりよい学校生活, 集団生活の充実	2	2	2	2	2	2
	伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	1	1	1	1	2	2
	国際理解, 国際親善	1	1	1	1	2	2
D	生命の尊さ	2	2	2	2	2	2
	自然愛護	2	2	2	2	2	2
	感動, 畏敬の念	2	2	2	2	1	1
	よりよく生きる喜び	—	—	—	—	1	1

(2) 総頁数

※大きさはA B判

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
本冊『きづき』	116	112	132	136	148	148
別冊『まなび』	48	48	48	48	52	52

(3) 教材を複数配当している内容項目 (視点別)



※それぞれの内容項目を1時間ずつ実施したとき, 残りの時間をどの内容項目に配当し, 重複させているかを視点別に表したものの。

2 考えを深める学習に関すること

(1) 問題解決的な学習について

- 全ての学年において、別冊『まなび』にねらいに即した「かんがえよう」と自らを振り返る「みつめよう」が設定されている。
- 全ての学年において、別冊『まなび』の各教材の始めに、本冊『きづき』に基づいた設問がある。

(2) 道徳的行動に関する体験的な学習について

- 全ての学年において、別冊『まなび』に学習活動「やってみよう」が設定されている。
- 別冊『まなび』の巻末に、「まなびのヒント」のページがあり、第1, 2学年においては「お話の人ぶつになろう」、第3学年以上においては「人物になって考える」が設定されている。

(3) 言語活動を充実する学習について

- 全ての学年において、別冊『まなび』に「自分の考え」や「友達の考え」を記述する欄がある。
- 別冊『まなび』の巻末に、「まなびのヒント」があり、第1, 2学年においては「上手な話し方・上手なきき方」「上手な話し合いのしかた」、第3学年以上においては「上手な話し方・きき方」「上手な話し合い」が設定されている。

(4) 情報モラルや現代的な課題について

- 情報モラルに関わる教材として、第1学年「あなたなら、どうする？」第2学年「ゲームをしていたつもりなのに」第3学年「言葉のまほう」第4学年「だいじょうぶかな」「ちょっと待って」第5学年「すれちがい」「たんていのつもりが……」第6学年「さくらちゃんのだれのもの?」「羊飼いの指輪」が取り上げられている。
- 全ての学年において、いじめに関わる教材と「コラム」が複数取り上げられている。
- 全ての学年において、「スポーツ」「キャリア教育」「国際理解教育」等、現代的な課題に関わる教材が複数取り上げられている。

3 児童の生活や経験及び興味や関心に関すること

- 全ての学年において、これからの生活につながられるよう、別冊『まなび』に「つなげていこう」が設定されている。
- 全ての学年において、別冊『まなび』に学習の振り返りにつながる「ふりかえろう」が設定されており、保護者記入欄がある。
- 全ての学年において、インターネットを使った学習ができるよう、本冊『きづき』の各教材の始めにQRコードがある。
- 全ての学年において、本冊『きづき』に「ともにいきる」「スポーツだいすき」「ふるさと」に関わるコラムが設定されている。

4 その他の特色について

- 全ての学年において、本冊『きづき』と別冊『まなび』の2つがある。
- 別冊『まなび』は、内容項目ごとのページにまとめられている。
- 別冊『まなび』の巻末に、「保護者の方へ」のページが設定されている。

5 全体的な表記・表現等について

- 全ての学年において、当該学年の配当漢字の全てにルビが付けられており、第1学年においては、片仮名にルビが付けられている。
- 全ての学年において、別冊『まなび』の書き込み欄には5mm方眼がある。
- 全ての学年において、別冊『まなび』に設問の内容に応じたマークが付けられている。
- マークは色とデザインの両方から判別できるようになっている。

1 概括的な調査研究

(1) 内容項目別教材数

視点	内容項目	教材数											
		1年		2年		3年		4年		5年		6年	
A	善悪の判断, 自律, 自由と責任	2		2		2		1		1		2	
	正直, 誠実	1		1		1		1		1		1	
	節度, 節制	3	9	3	9	3(1)	9	2	7	1	8	2	9
	個性の伸長	2		1		1	(1)	1	(2)	1		1(1)	(3)
	希望と勇気, 努力と強い意志	1		2		2		2(2)		3		2(2)	
	真理の探究	—		—		—		—		1		1	
B	親切, 思いやり	3		2		2		2(1)		1		1	
	感謝	1		2		1(1)		1		1		1	
	礼儀	1	7	2	8	2	8	2	(1)	1	6	1	6
	友情, 信頼	2		2		2		2		2		2	
	相互理解, 寛容	—		—		1		1		1		1	
C	規則の尊重	1		2		1(1)		1		2		1	
	公正, 公平, 社会正義	1		1		2		1		2		1	
	勤労, 公共の精神	2		1		1		2		1		1	
	家族愛, 家庭生活の充実	1	9	2	9	1	9	2	10	1(1)	11	1	9
	よりよい学校生活, 集団生活の充実	2(1)	(2)	1	(1)	1	(3)	1	(2)	1	(2)	1	(2)
	伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	1(1)		1(1)		2(2)		2(2)		2(1)		2(2)	
	国際理解, 国際親善	1		1		1		1		2		2	
D	生命の尊さ	3		2(1)		2		2		2(1)		2	
	自然愛護	1(1)	5	1(2)	4	1	4	2	5	1(1)	5	1	6
	感動, 畏敬の念	1(1)	(2)	1(1)	(4)	1		1		1	(3)	1	
	よりよく生きる喜び	—		—		—		—		1(1)		2	

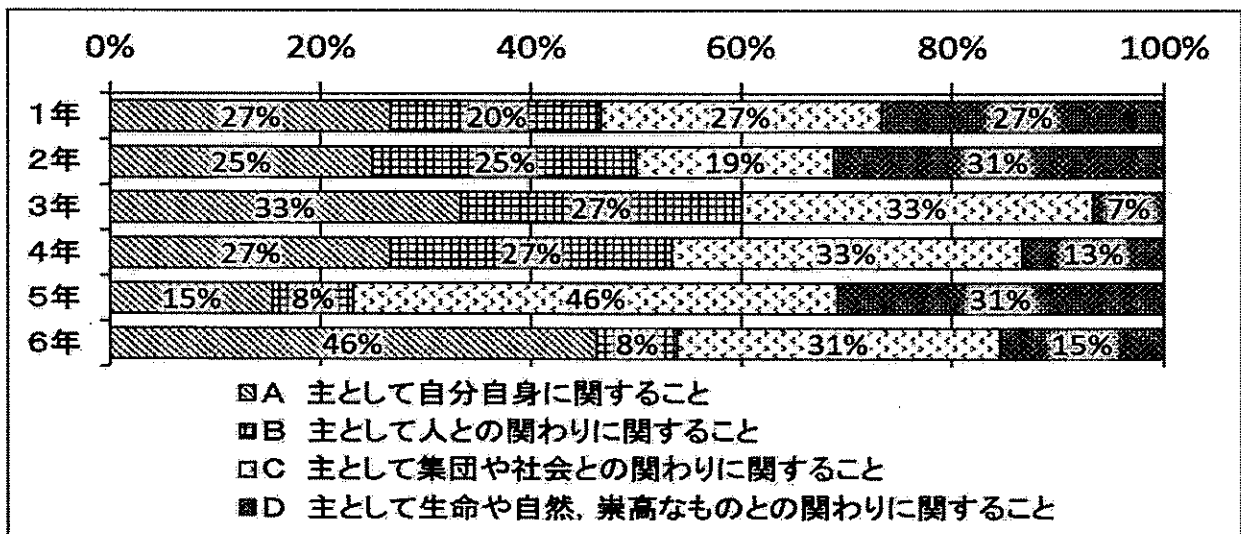
※ () 内は, 「補充教材」の教材数。

(2) 総頁数

※大きさはA B判

1年	2年	3年	4年	5年	6年
130	138	148	160	164	168

(3) 教材を複数配当している内容項目 (視点別)



※それぞれの内容項目を1時間ずつ実施したとき, 残りの時間をどの内容項目に配当し, 重複させているかを視点別に表したもの。

2 考えを深める学習に関すること

(1) 問題解決的な学習について

○全ての学年において、各教材の始めに「キャラクターによる導入（主題への誘い）」が設定されている。

○全ての学年において、各教材の終わりに「考えよう・深めよう」が設定されている。

(2) 道徳的行為に関する体験的な学習について

○全ての学年において、体験活動との関連を図った教材として「やってみよう」が設定されている。

○全ての学年において、「モラルスキルトレーニング」に関わる教材が取り上げられている。

✓ (3) 言語活動を充実する学習について

○全ての学年において、話し合い活動に関わる資料として、巻頭に、「道徳の学習が始まるよ」「道徳ではこんな学習をするよ」が設定されている。

○全ての学年において、巻末に、「学びの記録」「学習をふり返ろう」があり、自分の考えを記述する活動が設定されている。

○全ての学年において、各教材の終わりに「考えよう、深めよう」があり、話し合い活動が設定されている。

(4) 情報モラルや現代的な課題について

○情報モラルに関わる教材として、第1学年「くまさんのおちゃかい」第2学年「教えていいのかな」第3学年「おそろしいゲームいぞん」「新聞係」第4学年「守りたい自分のじょうほう」「かわいくない」第5学年「ロレンゾの友達」「知らない間のできごと」「参考にするだけなら」「だれかをきずつける機械ではない」第6学年「食事中のメール」「情報について考えよう」が取り上げられている。

○全ての学年において、「いじめをなくす」「情報モラル」「生命尊重」を「重点テーマ」とし、各題材に関する教材が複数取り上げられている。

○全ての学年において、「食育」「健康教育」「防災教育」等、現代的な課題に関わる教材が複数取り上げられている。

3 児童の生活や経験及び興味や関心に関すること

○全ての学年において、学校や地域の実情を考慮して活用できる「補充教材」がある。

○全ての学年において、他教科等の学習や普段の生活につなげられるよう、教材の終わりに「つなげよう」が設定されている。

○全ての学年において、巻末に、1年間の学習の振り返りにつながる「学習をふり返ろう」が設定されており、保護者記入欄がある。

4 その他の特色について

○全ての学年において、内容項目ごとのまとまりで教材が配列されている。

○全ての学年において、巻末に、「障がいのある人がえがいた作品」が取り上げられている。

○第1, 2学年において、巻末に、礼儀やマナーに関する折り込み資料がある。

○学習案内役のキャラクター「とりどり先生」とともに学習に取り組めるようになっている。

5 全体的な表記・表現等について

○全ての学年において、当該学年の配当漢字の初出箇所にはルビが付けられている。

○全ての学年において、「とりどり先生」の吹き出しは文節で改行されている。

○書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点を取り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 内容項目別教材数

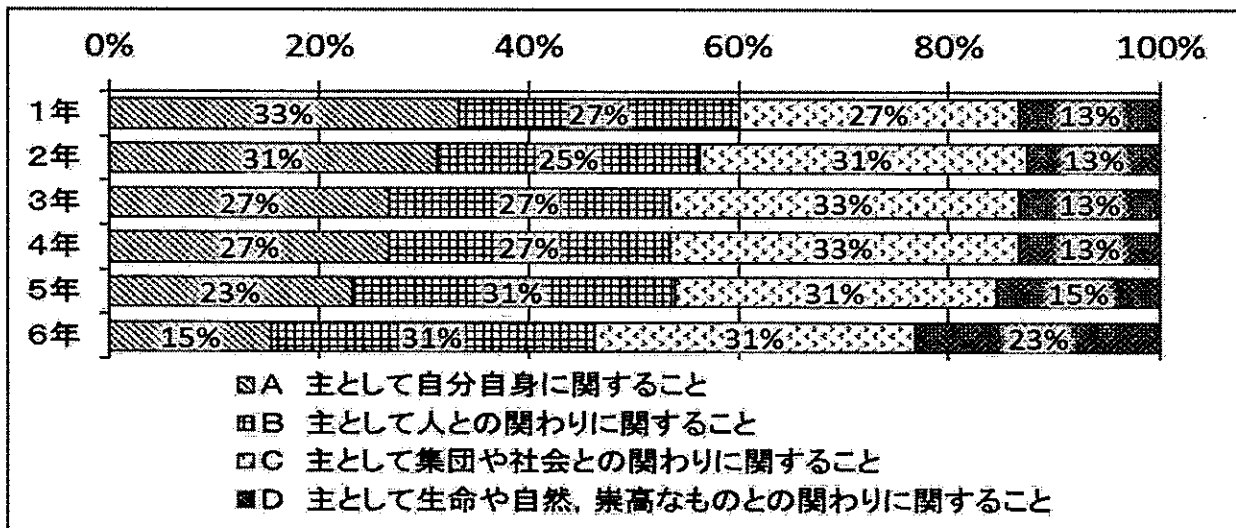
視点	内容項目	教材数											
		1年		2年		3年		4年		5年		6年	
A	善悪の判断, 自律, 自由と責任	2		2		2		2		2		2	
	正直, 誠実	2		2		2		2		1		1	
	節度, 節制	2	10	2	10	2	9	2	9	2	9	1	8
	個性の伸長	2		2		2		2		1		1	
	希望と勇気, 努力と強い意志	2		2		1		1		2		2	
	真理の探究	—		—		—		—		1		1	
B	親切, 思いやり	2		2		2		2		2		2	
	感謝	2		2		2		2		2		2	
	礼儀	2	8	2	8	1	9	1	9	1	9	1	9
	友情, 信頼	2		2		2		2		2		2	
	相互理解, 寛容	—		—		2		2		2		2	
C	規則の尊重	2		2		2		2		2		2	
	公正, 公平, 社会正義	2		2		2		2		2		2	
	勤労, 公共の精神	1		2		2		2		1		1	
	家族愛, 家庭生活の充実	2	11	2	12	2	12	2	12	1	11	1	11
	よりよい学校生活, 集団生活の充実	2		2		2		2		2		2	
	伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	1		1		1		1		2		1	
	国際理解, 国際親善	1		1		1		1		1		2	
D	生命の尊さ	3		3		3		3		3		3	
	自然愛護	1	5	1	5	1	5	1	5	1	6	1	7
	感動, 畏敬の念	1		1		1		1		1		1	
	よりよく生きる喜び	—		—		—		—		1		2	

(2) 総頁数

※大きさはB5変形判

1年	2年	3年	4年	5年	6年
144	168	184	192	204	220

(3) 教材を複数配当している内容項目 (視点別)



※それぞれの内容項目を1時間ずつ実施したとき, 残りの時間をどの内容項目に配当し, 重複させているかを視点別に表したもの。

2 考えを深める学習に関すること

(1) 問題解決的な学習について

- 全ての学年において、教材の始めに、キャラクターによる問いが設定されている。
- 全ての学年において、教材の終わりに「考えよう・話し合おう」が設定されている。

(2) 道徳的行為に関する体験的な学習について

- 全ての学年において、教材を通して考えた道徳的価値を深めるために「演じて考えよう」が設定されている。
- 全ての学年において、巻末の「付録」に、人とよりよい関係を築くための「こつ」が示されている。

(3) 言語活動を充実する学習について

- 全ての学年において、「学習のまとめり」ごとに「学びの記録」が設定されている。第1、2学年においては3つの項目で振り返る欄、第3学年以上においては自分の考えを記述する欄がある。
- 第2学年以上において、巻頭に、話し合い活動が適切に行われるよう「道徳の時間」が設定されている。
- 全ての学年において、「心を通わそう」が設定されている。

(4) 情報モラルや現代的な課題について

- 情報モラルに関わる教材として、第1学年「みんながつかうばしょだから」第2学年「角がついたかいじゅう」第3学年「やめられない」第4学年「つまらなかった」第5学年「あいさつって」第6学年「気に入らなかった写真」が取り上げられている。
- 全ての学年において、情報モラルに関わる教材の他に、情報モラルに関わる「コラム」が取り上げられている。
- 全ての学年において、「生命の尊重」に関わる教材が3つ取り上げられている。
- 全ての学年において、「いじめ問題」に関わる教材と「コラム」が取り上げられている。
- 全ての学年において、「地域・伝統文化」「国際理解教育」「環境教育」等、現代的な課題に関わる教材が複数取り上げられている。

3 児童の生活や経験及び興味や関心に関すること

- 他教科等の学習や普段の生活につながられるよう、第1学年においては、教材の終わりに「かんがえよう・はなしあおう」、第2学年以上においては「考えよう・話し合おう・つなげよう」が設定されている。
- 全ての学年において、長期休業日前や長期休業期間中に取り組む活動が設定されている。
- 第3学年以上において、巻末に、日本の伝統文化を紹介した資料がある。
- 全ての学年において、インターネットを使った学習ができる教材が複数取り上げられており、該当する教材の題名の下にQRコードがある。

4 その他の特色について

- 全ての学年において、「考えよう・話し合おう」の中で「めあて」が示されている。
- 学習案内役のキャラクター「きらりん」「こころん」とともに学習に取り組めるようになっている。

5 全体的な表記・表現等について

- 第1学年においては、数字以外は平仮名が用いられており、片仮名にはルビが付けられている。第2学年以上においては、当該学年の配当漢字の全てにルビが付けられている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 内容項目別教材数

視点	内容項目	教材数					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
A	善悪の判断, 自律, 自由と責任	3	3	3	3	2	2
	正直, 誠実	1	2	1	1	1	1
	節度, 節制	4	3	3	3	2	2
	個性の伸長	1(1)	1	2	1	1	1
	希望と勇気, 努力と強い意志	1	2	1(1)	1	1	2
	真理の探究	—	—	—	—	1	1
B	親切, 思いやり	3	3	3	3	2	2
	感謝	1	1	1	1	1	1
	礼儀	2	3	2	1(1)	1	1
	友情, 信頼	2	1	2	1(1)	2(1)	2
	相互理解, 寛容	—	—	1	2	2	2
C	規則の尊重	3	3	3	3	2(1)	2
	公正, 公平, 社会正義	2	1(1)	2	2	2	2
	勤労, 公共の精神	1	2	1(1)	2	2	1(1)
	家族愛, 家庭生活の充実	1	1	1	1	1	1
	よりよい学校生活, 集団生活の充実	1(1)	1	1	1	2	2
	伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	2	2	2	2	2	2
	国際理解, 国際親善	1(1)	1(1)	1	1(1)	2	2
D	生命の尊さ	3	3	3	3	2(1)	2(1)
	自然愛護	1	1	1	2	1	1
	感動, 畏敬の念	1	1(1)	1(1)	1	1	1(1)
	よりよく生きる喜び	—	—	—	—	2	2

※ () 内は, 「ふろく」の教材数。

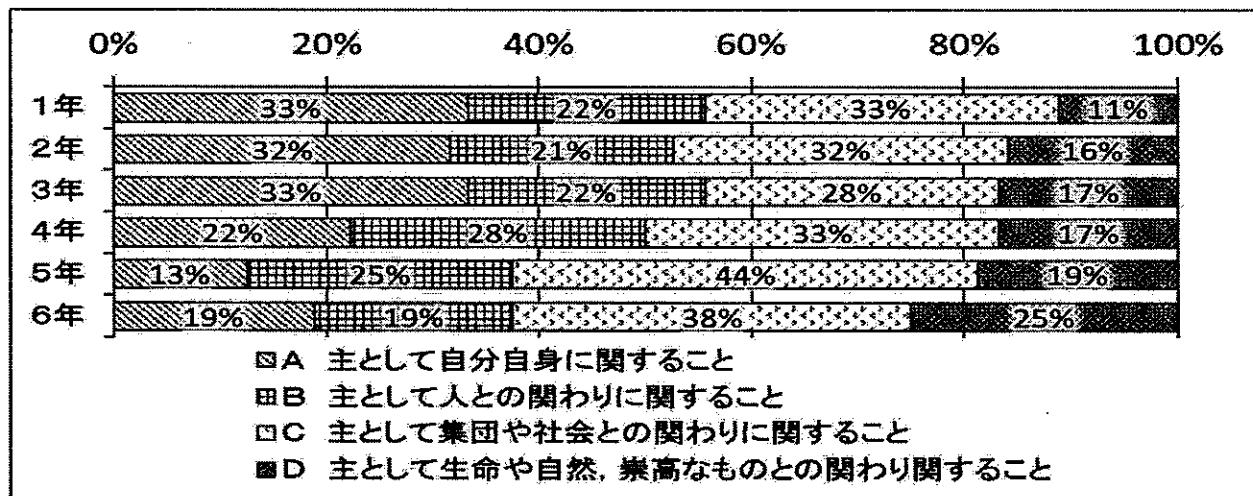
(2) 総頁数

※大きさはA B判

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
本書	148(5)	164(5)	176(5)	184(5)	184(5)	184(5)
別冊『道徳ノート』	40	40	40	40	40	40

※()内は資料等頁数

(3) 教材を複数配当している内容項目 (視点別)



※それぞれの内容項目を1時間ずつ実施したとき, 残りの時間をどの内容項目に配当し, 重複させているかを視点別に表したもの。

2 考えを深める学習に関すること

(1) 問題解決的な学習について

- 全ての学年において、各教材の終わりに「考えてみよう」「見つめよう生かそう」の設問がある。
- 全ての学年において、「学習の手引き」のページが設定されている。
- 全ての学年において、「心のベンチ」のページが設定されている。

(2) 道徳的行為に関する体験的な学習について

- 全ての学年において、「心のベンチ」のページで、体験的に学ぶ活動が設定されている。
- 全ての学年において、「学習の手引き」のページが設定されており、道徳で学習したことを日常生活の中で実践できるようになっている。

(3) 言語活動を充実する学習について

- 全ての学年において、話し合い活動が適切に行われるよう、巻頭に、「道徳のとびら」「道徳の学び方」が設定されている。
- 全ての学年において、別冊『道徳ノート』に「考えたこと」や「友達の意見」「友達と話し合ったこと」等を記述する欄がある。

(4) 情報モラルや現代的な課題について

- 情報モラルに関わる教材として、第1学年「ひつじかいのこども」第2学年「おにいちゃんの電話」「おばあちゃんお元気ですか」第3学年「ちゃんと使えたのに」第4学年「交かんメール」第5学年「のりづけされた詩」「すれちがい」「知らない間のできごと」第6学年「ほんとうのことだけど……」「カスミと携帯電話」「自分を守る力って?」が取り上げられている。
- 全ての学年において、「人との関わり」を「重点テーマ」の一つとし、「いじめ」に関わる教材と「コラム」が複数取り上げられている。
- 全ての学年において、「安全の確保」「平和・人権教育」「社会の持続可能な発展 (ESD, SDGs)」等、現代的な課題に関わる教材が複数取り上げられている。

3 児童の生活や経験及び興味や関心に関わること

- 全ての学年において、授業時間数より多い数の教材が取り上げられ、学校や地域の実情を考慮して教材を選択できる「ふろく」がある。
- 全ての学年において、各教材の終わりに、授業で学習したことを他教科や家庭・地域での活動につなげられる「考えてみよう」「見つめよう生かそう」が設定されている。
- 全ての学年において、別冊『道徳ノート』の巻末に、保護者記入欄がある。
- 全ての学年において、インターネットを使った学習ができる教材が5つ取り上げられている。

4 その他の特色について

- 全ての学年において、別冊『道徳ノート』がある。
- 全ての学年において、各教材の始めに「あらすじ」や「主な登場人物」が示されている。
- 学習案内役のキャラクター「ココロウ」「りさ」「なおや」「あかね」「はるひと」とともに学習に取り組めるようになっている。

5 全体的な表記・表現等について

- 全ての学年において、当該学年以降の配当漢字の全てにルビが付けられており、第1学年においては、片仮名にルビが付けられている。
- 全ての学年において、別冊『道徳ノート』の下半分に「自由記述欄」がある。
- 全ての学年において、各教材「見開き構成」となっている。

1 概括的な調査研究
(1) 内容項目別教材数

視点	内 容 項 目	教 材 数											
		1年		2年		3年		4年		5年		6年	
A	善悪の判断, 自律, 自由と責任	3		3		2		1(1)		1(1)		1	
	正直, 誠実	2		1(1)		1		1		1(1)		2	
	節度, 節制	4(1)	11	4	10	1(1)	6	2	6	1	8	1	9
	個性の伸長	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(2)	2	(2)	1(1)	(1)
	希望と勇気, 努力と強い意志	1		1		1		1(1)		2		2	
	真理の探究	—		—		—		—		1		2	
B	親切, 思いやり	2		3(1)		1(1)		2		1(1)		2	
	感謝	2		1		2		1(1)		1		1	
	礼儀	2(1)	8	2	8	2	11	1	10	1	8	1	6
	友情, 信頼	2	(1)	2(1)	(2)	4	(1)	4	(1)	2	(1)	1(1)	(2)
	相互理解, 寛容	—		—		2		2		3		1(1)	
C	規則の尊重	2(1)		1(1)		4		4		2		2	
	公正, 公平, 社会正義	1		2		1		1		2		2	
	勤労, 公共の精神	1		2		1		2		3		2	
	家族愛, 家庭生活の充実	1(1)	10	2	12	2	13	2	13	1	12	1	12
	よりよい学校生活, 集団生活の充実	2	(2)	1	(1)	2	(1)	2	(1)	1	(1)	1	(1)
	伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	2		2		2(1)		1(1)		2(1)		3(1)	
	国際理解, 国際親善	1		2		1		1		1		1	
D	生命の尊さ	3(1)		3		3(1)		3(1)		3		3(1)	
	自然愛護	1(1)	5	1	5	1(1)	5	1	6	2	7	2	8
	感動, 畏敬の念	1	(2)	1(1)	(1)	1	(2)	2	(1)	1	(1)	1	(1)
	よりよく生きる喜び	—		—		—		—		1(1)		2	

※ () 内は、「ふろく」の教材数。

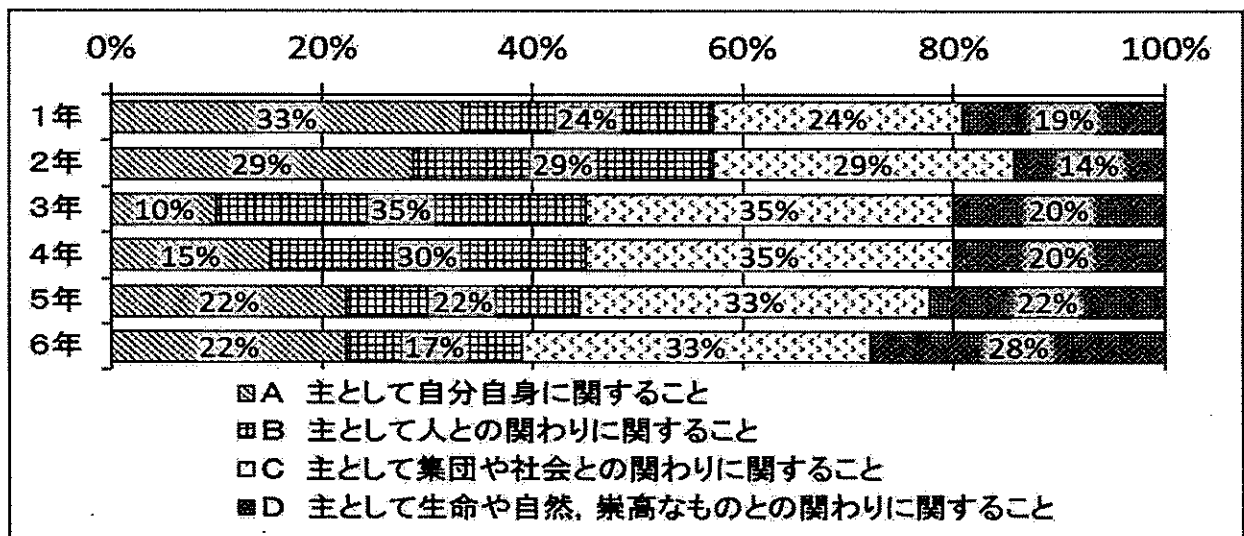
(2) 総頁数

※大きさはA4変形判

1年	2年	3年	4年	5年	6年
152(4)	160(4)	176(4)	180(4)	184(4)	188(4)

※()内は「学びの足あと」頁数

(3) 教材を複数配当している内容項目 (視点別)



※それぞれの内容項目を1時間ずつ実施したとき, 残りの時間をどの内容項目に配当し, 重複させているかを視点別に表したもの。

2 考えを深める学習に関すること

(1) 問題解決的な学習について

- 全ての学年において、各教材の始めに「問い」が設定されている。
- 全ての学年において、各教材の脚注部にキャラクターによる問いかけがある。
- 全ての学年において、各教材の終わりにある、考えたこと、分かったこと、学んだことを確認する「まとめる」と他教科等へつなげる「広げる」にそれぞれ設問がある。

(2) 道徳的行為に関する体験的な学習について

- 全ての学年において、「みんなでやってみよう！」が設定されている。
- 全ての学年において、各教材の終わりに「挨拶や言葉遣いなど具体的な道徳的行為」を行えるよう、「まとめる」「広げる」が設定されている。
- 全ての学年において、巻頭に、オリエンテーション「さあ、道徳の学習の学習が始まります」が設定されている。

(3) 言語活動を充実する学習について

- 全ての学年において、話し合い活動が適切に行われるよう、巻頭に、「さあ、道徳の学習が始まります」が設定されている。
- 全ての学年において、巻末に、「学びの足あと」を記述する欄がある。
- 全ての学年において、「ことばのたからもの」が設定されており、教材に関わることわざや名言等が取り上げられている。

(4) 情報モラルや現代的な課題について

- 情報モラルに関わる教材として、第1学年「ルールがないとどうなるの？—スマホやゲームきをつかうとき—」第2学年「おかあさんとのやくそく」第3学年「うわさ話・つらい気持ち」第4学年「ゲームのやくそく」第5学年「約束」第6学年「本当にだいじょうぶ？」が取り上げられている。
- 全ての学年において、情報モラルに関わる教材の他に、情報モラルに関わる「コラム」が取り上げられている。
- 全ての学年において、「生命の尊重」を「重点主題」とし、「生命の尊重」に関わる教材が2つ取り上げられている。
- 全ての学年において、「主権者教育」「人との共生」「防災」等、現代的な課題に関わる教材が複数取り上げられている。

3 児童の生活や経験及び興味や関心に関すること

- 全ての学年において、授業時間数より多い数の教材が取り上げられ、学校や地域の実情を考慮して教材を選択できる「ふろく」がある。
- 全ての学年において、教材の終わりに、授業で学習したことを他教科の学習や家庭・地域での活動につなげられる「まとめる」「広げる」が設定されている。

4 その他の特色について

- 全ての学年において、「道徳ノート (例)」が示されている。
- 全ての学年において、各教材の始めに、登場人物の紹介がある。
- 学習案内役のキャラクター「わんだ先生」「トリー」「ゆたかさん」「みらいさん」とともに学習に取り組めるようになっている。

5 全体的な表記・表現等について

- 第1学年においては、数字以外は平仮名が用いられており、片仮名にルビが付けられている。第2学年においては、第1学年の配当漢字のみの使用で、全ての漢字にルビが付けられており、第3学年以上においては、前学年までの配当漢字のみの使用で、第3学年は、全ての漢字にルビが付けられている。
- 全ての学年において、各教材の終わりにある設問に内容に応じたマークが付けられている。

1 概括的な調査研究

(1) 内容項目別教材数

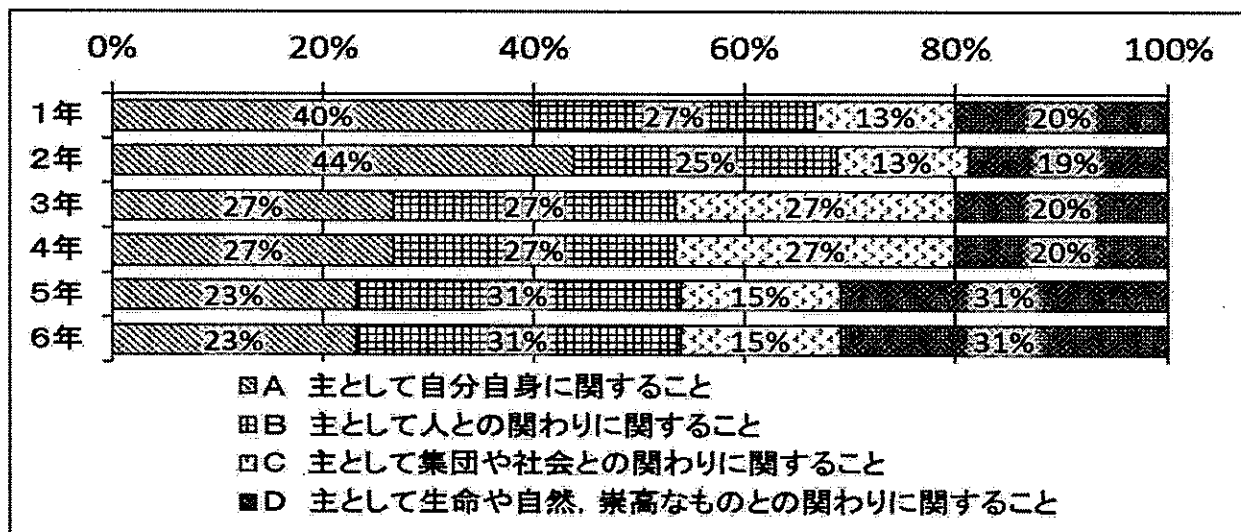
視点	内容項目	教材数											
		1年		2年		3年		4年		5年		6年	
A	善悪の判断, 自律, 自由と責任	3		3		3		3		3		3	
	正直, 誠実	1		2		1		1		1		1	
	節度, 節制	3	11	2	12	2	9	1	9	1	9	1	9
	個性の伸長	2		3		1		2		1		1	
	希望と勇気, 努力と強い意志	2		2		2		2		2		2	
	真理の探究	—		—		—		—		1		1	
B	親切, 思いやり	3		3		3		3		3		3	
	感謝	1		1		1		1		1		1	
	礼儀	2	8	2	8	1	9	1	9	1	9	1	9
	友情, 信頼	2		2		3		3		2		2	
	相互理解, 寛容	—		—		1		1		2		2	
C	規則の尊重	2		2		2		2		1		1	
	公正, 公平, 社会正義	2		2		2		2		1		1	
	勤労, 公共の精神	1		1		1		1		1		1	
	家族愛, 家庭生活の充実	1	9	1	9	1	11	1	11	1	9	1	9
	よりよい学校生活, 集団生活の充実	1		1		1		1		1		1	
	伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	1		1		2		2		2		2	
	国際理解, 国際親善	1		1		2		2		2		2	
D	生命の尊さ	3		3		3		3		3		3	
	自然愛護	2	6	2	6	1	6	2	6	2	8	2	8
	感動, 畏敬の念	1		1		2		1		1		1	
	よりよく生きる喜び	—		—		—		—		2		2	

(2) 総頁数

※大きさはA4判

1年	2年	3年	4年	5年	6年
136	140	152	156	164	168

(3) 教材を複数配当している内容項目 (視点別)



※それぞれの内容項目を1時間ずつ実施したとき, 残りの時間をどの内容項目に配当し, 重複させているかを視点別に表したものの。

2 考えを深める学習に関すること

(1) 問題解決的な学習について

○全ての学年において、「学び方のページ (深めよう・つなげよう・やってみよう・広げよう)」が設定されており、学習の道筋が示されている。

○全ての学年において、各教材の終わりに「考えよう」や「学び方のページ」で設問がある。

(2) 道徳的行為に関する体験的な学習について

○全ての学年において、「学び方のページ (深めよう・つなげよう・やってみよう・広げよう)」が設定されており、体験的な学習活動が設定されている。

○第1学年においては5か所、第2学年においては2か所、第3学年においては3か所、第4学年以上においては1か所「やってみよう」が設定されている。

(3) 言語活動を充実する学習について

○全ての学年において、自分の考えや学習の振り返りを記述する欄がある。

○全ての学年において、「考えよう」や「学び方のページ」で話し合い活動が設定されている。

○全ての学年において、巻頭に、「道徳の学習が始まるよ」が設定されており、学び方が示されている。

(4) 情報モラルや現代的な課題について

○情報モラルに関わる教材として、第1学年「さるきちのいたずら」第2学年「みんなのニュースがかり」第3学年「家のパソコンで」第4学年「カマキリ」第5学年「アップするのは？」第6学年「のりづけされた詩」「会話のゆくえ」が取り上げられている。

○全ての学年において、「いのちの教育」を「最重点テーマ」として、「生命の尊さ」に関わる教材が3つ取り上げられている。

○全ての学年において、「いじめ防止」に関わる教材が取り上げられている。

○全ての学年において、「食育」「健康教育」「消費者教育」等、現代的な課題に関わる教材が取り上げられている。

3 児童の生活や経験及び興味や関心に関すること

○全ての学年において、家庭で話し合ったりメッセージをもらったりする活動が設定されている。

○第1, 2学年においては「しっかり生きる」、第3, 4学年においては「仲良く生きる」、第5, 6学年においては「ともに生きる」の「重点テーマ」が設定されている。

○全ての学年において、インターネットを使った学習ができる教材が取り上げられており、該当する教材の題名の下に「マーク」で示されている。

4 その他の特色について

○全ての学年において、最初のページに見開きで言葉が添えられた写真がある。

○全ての学年において、巻頭に、「自分のことを書いてみよう」、巻末に、「心の宝物」が設定されている。

○全ての学年において、各教材の始めに、教材の題名と4つの視点が示されている。

○全ての学年において、学習案内役のキャラクター「明日香」「未来」が登場する教材が取り上げられている。

5 全体的な表記・表現等について

○全ての学年において、当該学年以降の配当漢字の全てにルビが付けられており、第1学年では、片仮名にルビが付けられている。

○書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 内容項目別教材数

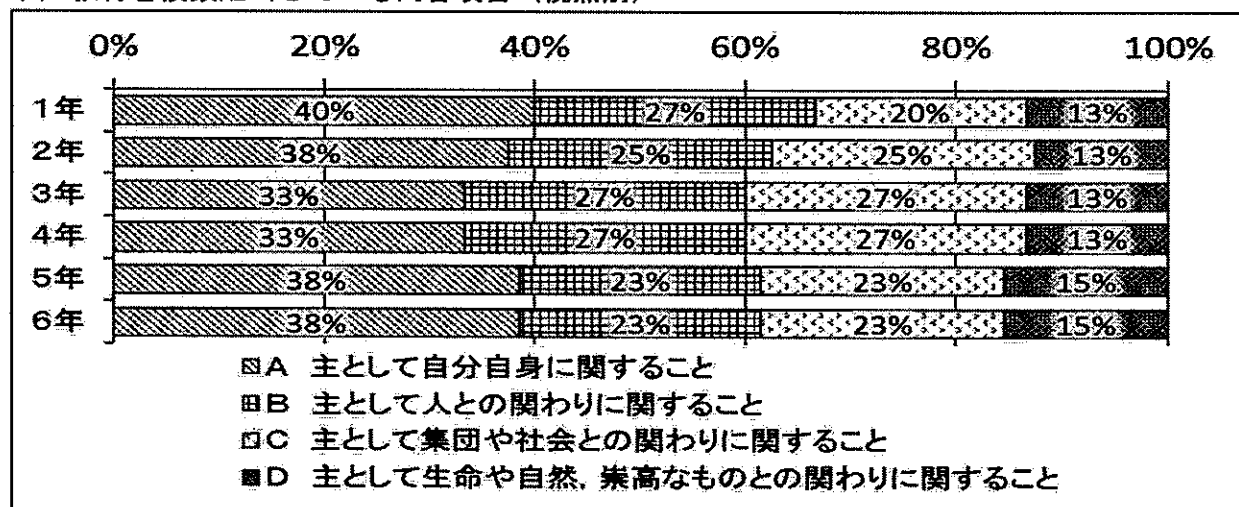
視点	内容項目	教材数											
		1年		2年		3年		4年		5年		6年	
A	善悪の判断, 自律, 自由と責任	3		3		3		3		3		3	
	正直, 誠実	2		2		2		2		2		2	
	節度, 節制	3	11	3	11	2	10	2	10	2	11	2	11
	個性の伸長	1		1		1		1		1		1	
	希望と勇気, 努力と強い意志	2		2		2		2		2		2	
	真理の探究	—		—		—		—		1		1	
B	親切, 思いやり	3		3		3		3		3		3	
	感謝	1		1		1		1		1		1	
	礼儀	2	8	2	8	2	9	2	9	1	8	1	8
	友情, 信頼	2		2		2		2		2		2	
	相互理解, 寛容	—		—		1		1		1		1	
C	規則の尊重	3		3		3		3		2		2	
	公正, 公平, 社会正義	1		1		1		1		1		1	
	勤労, 公共の精神	1		1		1		1		1		1	
	家族愛, 家庭生活の充実	2	10	2	11	2	11	2	11	2	10	2	10
	よりよい学校生活, 集団生活の充実	1		1		1		1		1		1	
	伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	1		2		2		2		2		2	
	国際理解, 国際親善	1		1		1		1		1		1	
D	生命の尊さ	3		3		3		3		3		3	
	自然愛護	1	5	1	5	1	5	1	5	1	6	1	6
	感動, 畏敬の念	1		1		1		1		1		1	
	よりよく生きる喜び	—		—		—		—		1		1	

(2) 総頁数

※大きさはA B判

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
本冊	112	112	120	132	156	164
別冊『道徳ノート』	36	44	44	44	48	48

(3) 教材を複数配当している内容項目 (視点別)



※それぞれの内容項目を1時間ずつ実施したとき, 残りの時間をどの内容項目に配当し, 重複させているかを視点別に表したものの。

2 考えを深める学習に関すること

(1) 問題解決的な学習について

- 全ての学年において、「問題解決的な学習を促す教材」が複数取り上げられている。
- 全ての学年において、各教材の終わりにある「考えよう話し合おう」で、「教材をもとに考える問い」と「自己に照らして考える問い」の設問がある。

(2) 道徳的行為に関する体験的な学習について

- 全ての学年において、「体験的な学習を促す教材」が複数取り上げられている。
- 第3学年以上において、「学習を広げる」が設定されており、「主体的・対話的な学習を促す内容（役割演技や調べ学習など）」が示されている。
- 第5学年以上において、別冊『道徳ノート』に「体験活動の記録」が設定されている。

(3) 言語活動を充実する学習について

- 全ての学年において、別冊『道徳ノート』に「学習感想」を記述する欄がある。
- 第2学年以上において、別冊『道徳ノート』に「話し合い活動の記録」が設定されている。

(4) 情報モラルや現代的な課題について

- 情報モラルに関わる教材として、第1学年「けいじばんのらくがき」第2学年「みんなのニュースがかり」第3学年「きよしのなやみ」第4学年「少しだけなら」第5学年「だれも知らないニュース」「ちゃんとやれよ、健太」第6学年「達也の転校」「自由だからこそ」が取り上げられている。
- 全ての学年において、「善悪の判断、自律、自由と責任」「親切、思いやり」「生命の尊さ」を「重点項目」とし、それに関わる教材が3つ取り上げられている。
- 全ての学年において、「生命の尊厳」「自然」「伝統と文化」等、現代的な課題に関わる教材が複数取り上げられている。

3 児童の生活や経験及び興味や関心に関すること

- 全ての学年において、児童の発達段階に応じた「重点項目」が設定されている。
- 全ての学年において、別冊『道徳ノート』の巻末に「心のしおり」が設定され、「先生や家の人に見てもらった記録」を記述する欄がある。
- 第3学年以上において、インターネットを使った学習ができる教材が取り上げられており、該当する教材の脚注部に「マーク」で示されている。

4 その他の特色について

- 全ての学年において、別冊『道徳ノート』があり、内容項目別に構成されている。
- 全ての学年において、別冊『道徳ノート』の巻末に、学習を振り返る「心のしおり」が設定されている。
- 第1学年においては、巻頭に、「どうとくのじかんがはじまるよ」、第2学年以上においては、巻頭に、「道徳の時間はこんな時間」が設定されている。

5 全体的な表記・表現等について

- 全ての学年において、当該学年の配当漢字を含む未習の漢字全てにルビが付けられている。
- 別冊『道徳ノート』の書き込み欄に、第1、2学年においてはマスがあり、第3学年以上においては罫線がある。
- 全ての学年において、別冊『道徳ノート』の各内容項目の始めに「内容項目の解説」と「内容項目に準じた問い」が示されている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

